IIJモバイルサービス

Wi-Fi WALKER LTE HWD11 取扱説明書

Version 1.0

IIJ
Internet Initiative Japan

本書は著作権法上の保護を受けています。
本書の一部あるいは全部について、著作権者からの許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、翻案、公衆送信等をすることは禁じられています。
IIJ、Internet Initiative Japanは、株式会社インターネットイニシアティブの商標または登録商標です。
その他、本書に掲載されている商品名、会社名などは各会社の商号、商標または登録商標です。
本文中では、™、®マークは表示しておりません。
©2015 Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved.

本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

IIJモバイルサービス Wi-Fi WALKER LTE HWD11 取扱説明書
Version 1.0
発行：株式会社インターネットイニシアティブ
IIJ-MVNO180AA-1505CP-00001ZZ

目次

ご利用にあたって 4
本製品をご利用いただくにあたって 4
工場出荷時設定について 4
お取り扱いにはご注意ください 5
免責事項について 6
安全にお使いいただくために 7
取り扱い上のお願い 10
無線LAN(Wi-Fi)機能について 12
ご利用の前に 13

ご利用の準備 14
本製品の使いかた 14
動作環境 15
箱の中身をご確認ください 16
各部の名称と機能 17
ディスプレイの表示について 20
アニメーション、テキスト表示について 21
SIMカードの取り付けと取り外し 22
充電 23
電源を入れる、切る 25

無線LAN接続 26
無線LAN機能について 26
Windowsパソコンの接続 27
Macの接続 28
WPS対応の無線LAN端末の接続 30

USB接続 31
WindowsパソコンへのUSBでの接続 31
MacへのUSBでの接続 33
Wi-Fi WALKER LTE setting toolの
アンインストール 34

インターネット接続 37
インターネットへの接続 37
接続モードの切り替え 37

Wi-Fi WALKER LTE設定ツール 38
インターネットや無線LANの情報 42
各種機能の詳細設定 43
WAN設定 44
LAN設定 49
Wi-Fiスポット接続 54
セキュリティに関する機能の設定 56
システム設定 68
オンラインアップデート 74
バージョン 74

付録 75
故障とお考えになる前に 75
Wi-Fi WALKER LTE設定ツールメニュー項目
及び設定項目一覧 79
主な仕様 83
知的財産権について 84

IIJ mobile
モバイル

ご利用にあたって

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネルや地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください(ただし、LTE/GPRS/UMTS方式は通信上の高い秘匿機能を備えております)。
- 本製品は電波法に基づく無線局のため、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その場合は、お使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 海外でご利用される場合は、その国または地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

使用が禁止されている場所

- 自動車、原動機付自転車、自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車、原動機付自転車運転中の本製品の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の本製品の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳しくはご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

工場出荷時設定について

本製品はマルチSSID機能に対応し、2つのネットワーク名(SSID)があります。暗号化方式によって使用する「SSID」「WPA Key」「WEP Key」が異なります。

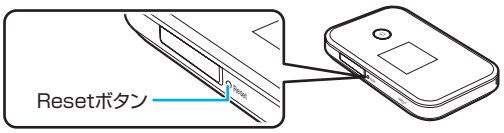
●ネットワーク名(SSID1)　：SSID1（WPA2/WPA)で接続するときに使用します。
　Wi-Fi WALKER LTE設定ツールに無線LANで接続するときに使用します。
●事前共有キー（WPA Key）：SSID1（WPA2/WPA)で接続するときに使用する事前共有キーです。
●ネットワーク名(SSID2)　：SSID2（WEP)で接続するときに使用します。
●WEPキー（WEP Key）　：SSID2（WEP)で接続するときに使用するWEPキーです。
　SIMカードは、IIJからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失及び破損した場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合は、盗難または紛失の場合は、IIJサポートセンターまでお問い合わせください。
　Wi-Fi WALKER LTE設定ツールの初期ログインパスワードも同じ値が設定されています。

※「接続モード」が「自動」または「Wi-Fi」に設定されているときは、「SSID2」をご利用になれません。「接続モード」については、44ページの「WAN設定」の「基本設定」をご覧ください。

※通信の安全性を高めるためには、SSID2（WEP)よりもSSID1（WPA2/WPA)を使用することをお勧めします。ただし、一部の機器などではSSID1（WPA2/WPA)で接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、50ページの「セキュリティ設定」をご覧ください。

本製品を工場出荷状態に戻すには(リセット)

本製品の電源を入れた状態で、Resetボタンを先の細いもので約5秒以上押すと、工場出荷時設定にリセットされます。



・Wi-Fi WALKER LTE設定ツールの「オールリセット」(72ページ)でも工場出荷時設定に戻ります。

参考

・本製品をリセットするとご購入後に設定した内容はすべて削除されます。十分ご注意の上、本機能をご利用ください。また万一の場合に備え、あらかじめ設定内容をパソコンに保存することも可能です。詳しくは、69ページの「バックアップ&リストア」をご覧ください。

お取り扱いにはご注意ください

本製品は精密機器です。無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、下記の点に特にご注意ください。外圧など取り扱い上の過失による、液晶画面や内部基板などの破損が原因の故障修理は保証期間内でも有償となります。

・ズボンやスカートのポケットに入れたまま座らないでください。
・カバンの中に入れる場合は、重いものの下にならないようにご注意ください。
・落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。
・雨の日は濡れながら使用したり、水没させたりしないようにご注意ください。

microUSBケーブルについて

Wi-Fi WALKER LTEをmicroUSBケーブルで初めて接続したパソコンには、Wi-Fi WALKER LTE setting toolがインストールされます。
※パソコンにWi-Fi WALKER LTEを接続してお使いにならない場合は、アンインストールすることもできます。詳しくは、34ページの「Wi-Fi WALKER LTE setting toolのアンインストール」をご覧ください。

バッテリーについて

データ通信をご利用中の場合は、ACアダプタからの充電が長時間完了しないことがあります。また、データ通信をご利用中の場合は、パソコンからのUSB充電ができないことがあります。

その他

- 必ず専用の周辺機器をご使用ください。発熱、発火、破裂、故障、漏液の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火、破裂、故障、火災の原因となります。
- ACアダプタをコンセントに差し込む場合は、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災、感電、傷害、故障の原因となります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- 水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。
- Wi-Fi WALKER LTEのディスプレイパネルに傷がついたり、破損してしまった場合は、破損部に触れないでください。破損部でケガをすることがあります。IIJサポートセンターまでご連絡ください。
- 通信中や充電中など、ご利用状況によってはWi-Fi WALKER LTE本体、内蔵電池、ACアダプタやmicroUSBケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、長時間肌に触れたままにすると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品を長時間ご使用になる場合は、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

免責事項について

- 地震、雷、風水害などの天災及び弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化または消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害及び逸失利益に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化または消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず弊社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

※本書で表す「弊社」とは、以下の企業を指します。
発売元：株式会社インターネットイニシアティブ
輸入元：華為技術日本株式会社
製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES. LTD

参考
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がございましたら、ご連絡ください。

安全にお使いいただくために

▼安全のための表示と図記号

本文で使用している表示と図記号の意味は次の通りです。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

⚠危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が生じることが想定される内容を示しています。

1 本体、SIMカード、周辺機器共通

	必ず指定の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合は、発熱、発火、破裂、故障、漏液の原因となります。
	高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火、破裂、故障、火災、傷害の原因となります。
	ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電している場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。
	電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。発火、破裂、故障、火災、傷害の原因となります。
	火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火、破裂、火災の原因となります。
	接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。
	金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電、発火、傷害、故障の原因となります。
	お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障、発火、感電、傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品やパソコンなどに不具合が生じても弊社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

2 内蔵電池について

(Wi-Fi WALKER LTEの内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

	液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
	内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、IIJサポートセンターなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1 本体、SIMカード、周辺機器共通

	落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂、発熱、発火、故障の原因となります。
	屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷、感電のおそれがあります。
	接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電、傷害、故障の原因となる場合があります。
	本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合は、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。 IIJサポートセンターまでご連絡ください。
 	水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグ、microUSBケーブルを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理になります。
	自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。
	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
	乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

2 本体について

	自動車、原動機付自転車、自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車、原動機付自転車運転中の本製品の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の本製品の使用も法律などで罰せられる場合があります。
	航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もあります。詳しくは、ご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
	高精度な電子機器の近くでは本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります(影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー、補聴器、その他医用電気機器、火災報知機、自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください)。

	植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置、機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。 1. 植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器から22cm以上離して携行及び使用してください。 2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。 3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。 •手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。 •病棟内では、本製品の電源をお切りください。 •ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。 •医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。 4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

3 充電用機器について

	指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火、火災、発熱、感電などの原因となります。 •ACアダプタ：AC100 ～ 240V
	指定の充電用機器の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱及び発火による火災の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
	指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電、ショート、火災の原因となります。
	充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電、傷害、故障の原因となる場合があります。
	雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電の原因となります。
	お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。
	電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。
	長時間使用しない場合は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電、火災、故障の原因となります。
	水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱、火災、感電、電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

4 SIMカードについて

	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にSIMカードを入れないでください。溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

1 本体、SIMカード、周辺機器共通

	直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱、発火、変形や故障の原因となる場合があります。
	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
	使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。
	外部から電源が供給されている状態の本体及び指定のACアダプタに、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
	本製品を長時間ご使用になる場合は、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因になるおそれがあります。
	コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
	腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データの消失の原因となります。
	SIMカードスロットのカバーを開いたまま、放置、保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
	使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、IIJサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、IIJサポートセンターまでご連絡ください。
	充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損、故障の原因となります。

2 本体について

	自動車内で使用する場合は、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。
	皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質及び体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などを生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。 使用箇所 / 使用材質(表面処理) 外装ケース(ディスプレイ面) / PC樹脂(黒色塗装) 外装ケース(背面) / PC樹脂(黒色塗装) 外装ケース(周囲装飾部) / PC樹脂(グレー塗装) ディスプレイパネル / PC樹脂 電源ボタン / ABS樹脂(3価クロムメッキ) WPSボタン / PC樹脂(グレー塗装) SIMカードスロットカバー / PC樹脂(グレー塗装) microUSB端子 / ニッケルカッパー合金(金コーティング)
	SIMカードスロットに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	ストラップなどを持って、本製品を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。
	通常はSIMカードスロットのカバーを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり及び水などが入り故障の原因となります。

	砂浜などの上に直に置かないでください。microUSBコネクタなどから本製品本体内に砂などが混入すると、発熱や故障の原因となります。
	通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙、布、布団などをかぶせたりしないでください。火災、やけど、故障の原因となる場合があります。

3 充電用機器について

	風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。
	充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。
	指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

4 SIMカードについて

	SIMカードの取り付け及び取り外しの際はご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。
	SIMカードを使用する機器は、弊社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、IIJサポートセンターまでお問い合わせください。
	SIMカードを分解、改造しないでください。データの消失及び故障の原因となります。
	SIMカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。
	SIMカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。
	SIMカードのIC（金属）部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失及び故障の原因となります。
	SIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
	SIMカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。
	SIMカードを濡らさないでください。故障の原因となります。
	SIMカードのIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。
	SIMカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。
	SIMカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。
	SIMカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体・充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合は、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温、低温、多湿の場所では使用しないでください(周囲温度5℃～ 35℃、湿度35% ～ 85%の範囲内でご使用ください)。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■本体について

- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品本体に表示されております。本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合は、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された内容は、事故や故障及び修理、その他取り扱いによって変化、消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化、消失した場合の損害及び逸失利益につきましては、弊社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることがありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合は、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSBコネクタにmicroUSBケーブルを接続するときは、microUSBコネクタに対してmicroUSBケーブルのコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- microUSBコネクタにmicroUSBケーブルを接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。不要となった本製品の回収、ご返却(レンタル提供の場合)に関しましては、IIJサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本製品のSIMカードスロットには、SIMカード以外のものは挿入しないでください。

■内蔵電池について

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 初めてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池には寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は寿命ですので、ご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、IIJサポートセンターなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。
  これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから外してください。
- 指定の充電用機器の電源コードを、電源プラグに巻きつけないでください。感電、発火、火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 周囲温度が高い、もしくは低いため保護機能が働き、充電できない場合があります。周囲温度が5℃～ 35℃の場所に置いてください。充電を開始します。

■SIMカードについて

- SIMカードは、IIJからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失及び破損した場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合は、盗難または紛失の場合は、IIJサポートセンターまでお問い合わせください。
- SIMカードの取り外し、及び挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因になります。

■著作権について

- お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影、録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気または故障など不測の要因や、修理や誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。
  ※控え作成の手段：本製品の設定内容をパソコンにバックアップすることができます。詳しくは、69ページの「バックアップ&リストア」をご覧ください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

付属ソフトウェアに関するご注意

本製品に付属のソフトウェアのご使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

- お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡及び販売などはできません。
- 本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のみ許可されます。他人への譲渡及び販売などの目的でコピーをすることはできません。
- 本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害及び第三者からのお客様に対する損害の請求については、弊社はその一切の責任を負いません。

無線LAN(Wi-Fi)機能について

・本製品の無線LAN機能は日本国内規格、FCC規格及びEC指令に準拠し、認定を取得しています。
・無線LANが使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
・電気製品、AV、OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
・航空機内での使用はできません。Wi-Fi対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳しくは、ご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業、科学、医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、IIJサポートセンターまでご連絡ください。

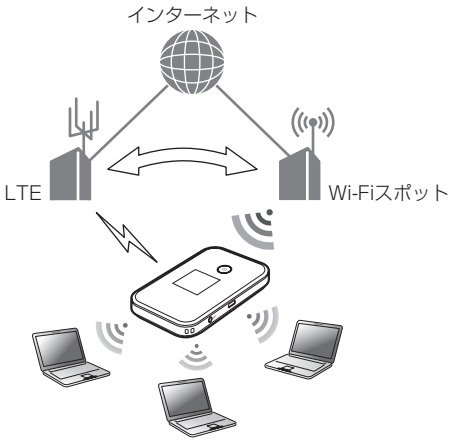
・本製品はすべての無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
・無線通信時のセキュリティとして、無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境及び設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
・無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
・無線LAN通信時に発生したデータ及び情報の漏洩につきましては、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品の無線LAN機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。
・無線LAN機能：2.4DS/OF42.4DS/OF4
　本製品は2.4GHz帯を使用します。
　変調方式としてDS.SS方式及びOFDM方式を採用しています。
　与干渉距離は約40m以下です。
　全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ご利用の前に

本製品はLTE方式またはWi-Fiを利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は、LTE方式とWi-Fiの自動切替、LTE方式専用、Wi-Fi専用のいずれかを選択いただけます。LTE方式及びWi-Fiの選択、設定方法については、44ページの「WAN設定」の「基本設定」をご覧ください。



・LTE方式利用時の最大通信速度は、受信75Mbps、送信25Mbpsです。
・Wi-Fi利用時の最大通信速度は、72Mbps（IEEE802.11n接続時）です。
※本製品の通信はすべてベストエフォート方式です。記載の速度は技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。また、回線の混雑状況により通信速度が切り替わります。
・本製品はUSB2.0規格に対応しております。そのためUSBポートを備えたパソコンでご使用になれます。

IIJ mobile
モバイル

ご利用の準備

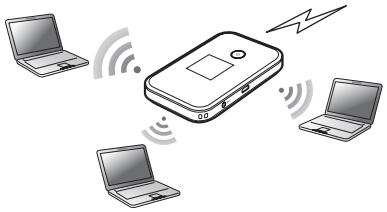
本製品の使いかた

本製品は、無線LAN機能によりパソコンなどの複数の無線LAN端末と接続したり、microUSBケーブルでパソコンなどと接続したりできます。さらに、接続した端末から本製品を経由してLTE方式やWi-Fiを使ったインターネット接続によるデータ通信(ベストエフォート方式※1)ができます。

・LTE方式利用時の最大通信速度：受信75Mbps、送信25Mbps
・Wi-Fi利用時の最大通信速度：72Mbps(IEEE802.11n接続時)
※1　接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。

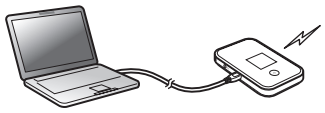
無線LANで接続する

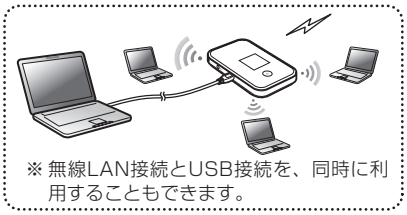
本製品とパソコンなどの無線LAN端末を接続し、データ通信を行います。
本製品は無線LAN端末を同時に10台まで接続することができます。
詳しくは、26ページの「無線LAN接続」及び38ページの「Wi-Fi WALKER LTE設定ツール」をご覧ください。



microUSBケーブルで接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続し、データ通信を行います。
詳しくは、31ページの「Windowsパソコンへの USBでの接続」及び33ページの「MacへのUSBでの接続」をご覧ください。





※ 無線LAN接続とUSB接続を、同時に利用することもできます。

参考

・電波受信状況やアクセス集中、コンテンツの容量などによっては、正常な通信が行えない場合があります。また、接続機器によっては通信などが正常に動作しない場合があります。
・USB接続と無線LAN接続は別にカウントされるため、合わせて11台まで同時に接続できます。
・本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。
・電池の消費を抑えるために、省電力モードを設定する(70ページ)ことをお勧めします。

動作環境

本製品の動作環境は以下のとおりです。

対応機器

パソコンなど、IEEE802.11b/g/nの無線LAN規格に対応する機器
USBポートを備えたWindows、Macなどのパソコン

対応OS

Windows Vista(32bit/64bit)
Windows 7（32bit/64bit)
Windows 8（32bit/64bit)
Windows 8.1（32bit/64bit)
Mac OS X 10.5（32bit）※Intel製CPU搭載のMacのみ対応
Mac OS X 10.6（32bit/64bit)
Mac OS X 10.7（32bit/64bit)
Mac OS X 10.8（64bit)
Mac OS X 10.9（64bit)
上記OSの日本語版及び英語版に対応しています。

メモリ

Windows Vista 推奨1GB以上、512MB以上必要
Windows 7 1GB以上必要(32bit)、2GB以上必要(64bit)
Windows 8 2GB以上必要
Windows 8.1 2GB以上必要
MacOS X 推奨512MB以上、256MB以上必要

ハードディスク

推奨100MB以上(50MB以上の空き容量が必要)
Windows8：20GB以上の空き容量が必要
Windows8.1：20GB以上の空き容量が必要

画面解像度

推奨1024pixel×768pixel以上

対応ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 6
Microsoft Internet Explorer 7
Microsoft Internet Explorer 8
Microsoft Internet Explorer 9
Microsoft Internet Explorer 10
Safari 3
Safari 4
Safari 5
Safari 6
Firefox 4 ～ 15
Chrome 10 ～ 21

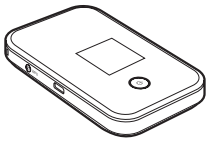
上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

参考

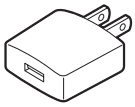
・パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンのマニュアルなどをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

箱の中身をご確認ください

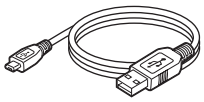
ご使用いただく前に、以下の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



Wi-Fi WALKER LTE本体



ACアダプタ
(HWD11PQA)



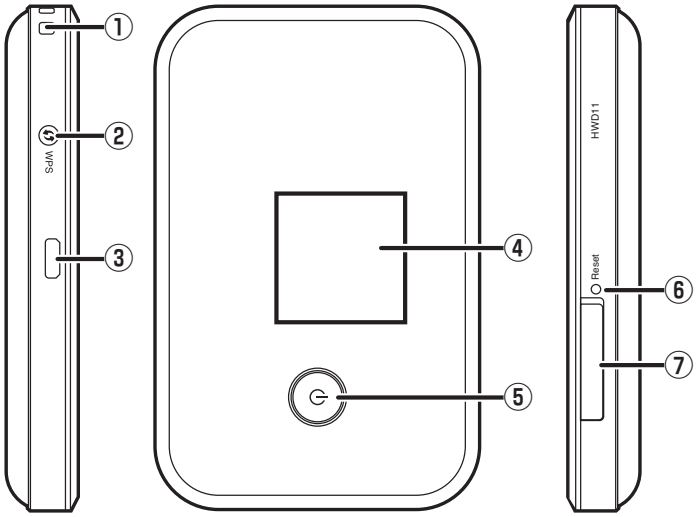
microUSBケーブル

セットアップガイド

参考

・外箱を含め付属品は大切に保管してください。
・本製品の電池は本体に内蔵されており、お客様ご自身による取り付け及び取り外しはできません。

各部の名称と機能



① ストラップ取り付け穴

② WPSボタン
・WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能を開始します。WPS機能を搭載した無線LAN端末をお使いの場合に、無線LANの接続設定を簡単に行うことができます。
・接続モードの切り替えや、ディスプレイ表示の切り替えなどに使用します。

③ microUSBコネクタ
microUSBケーブルを接続します。

④ ディスプレイ
本製品の状態が表示されます。詳しくは、20ページの「ディスプレイの表示について」をご覧ください。

⑤ 電源ボタン
電源を入れる、または切ります。

⑥ Resetボタン
すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

⑦ SIMカードスロット
SIMカードを取り付けます。詳しくは、22ページの「SIMカードの取り付けと取り外し」をご覧ください。

参考
・ボタンの操作方法について詳しくは、18ページの「本体のボタン操作について」をご覧ください。
・電池は本体に内蔵されています。

本体のボタン操作について

本体のボタンで次の操作ができます。

電源ボタン

操作	機能	ディスプレイ表示	説明
約3秒押す	電源のオン及びオフ	オン「WELCOME」 オフ(フェードアウト)	—
約1秒押す (電源がオンのとき)	省電力モード	「Power Save Mode」	省電力モードを解除するには、電源ボタンまたはWPSボタンを押します
約10秒以上押す	強制電源オフ	—	本製品の操作ができなくなってしまったときなど、強制的に電源を切ることができます

WPSボタン

操作	機能		ディスプレイ表示	説明
約2秒以上押す	ローミング設定がオフのとき	接続モードの切り替え	「Mode Switch：LTE」 ▼ 「Mode Switch：Wi-Fi」 ▼ 「Mode Switch：Auto」	切り替え後の接続モードが表示されます
	ローミング設定がオンのとき	ローミングモードの切り替え	「Roming Switch：CDMA」 ▼ 「Roming Switch：UMTS/GPRS」 ▼ 「Roming Switch：Auto」	切り替え後のローミングモードが表示されます ※IIJモバイルサービス/タイプKは、国際ローミングをサポートしておりません。
約4秒以上押す	WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能による無線LAN端末の接続設定を開始する			結果に応じて次のように表示されます WPS成功 WPS失敗
続けて2回押す※1	現在使用しているSSIDの表示 ・もう一度WPSボタンを続けて2回押す※1と、WPA Keyが表示されます※2 ・SSIDを2つ利用している場合は、WPSボタンを続けて2回押す※1たびに、「SSID1」→「WPA Key」→「SSID2」→「WEP Key」の順に表示されます※2		「SSID：HWD11_XXXXXXXXXXXX」 ▼ 「WPA Key：XXXXXXXXXXXXXX」 「SSID1：HWD11_XXXXXXXXXXXX」 ▼ 「WPA Key：XXXXXXXXXXXXXX」 ▼ 「SSID2：HWD11_XXXXXXXXXXXX」 ▼ 「WEP Key：XXXXX」	最初にWPSボタンを続けて2回押した※1あとは、操作しなくても次の画面が表示されます Wi-Fi WALKER LTE設定ツールの「LAN設定」の「基本設定」で「Wi-Fiモジュール」を「オフ」にしている場合は、ディスプレイに「Wi-Fi Off」と表示されます。詳しくは、49ページの「LAN設定」をご覧ください

※1　約1秒以内に2回押します。
※2　WPA KeyとWEP Keyを非表示にすることもできます。詳しくは、50ページの「セキュリティ設定」をご覧ください。

電源ボタン/WPSボタン

操作	機能		ディスプレイ表示	説明
両方を同時に押す	ローミング設定のオン及びオフ※		「Roming on」 「Roming off」	ローミングサービス(通信事業者)のネットワークに接続されるとRが表示されます
どちらか一方を押す (約1秒以内)	省電力モードのとき	省電力モードを解除	—	—
	ローミング設定がオフのとき	接続に使用しているプロファイル名を表示	「Profile: XXXXXXXXX」	—
	ローミング設定がオンのとき	接続している通信事業者名を表示	「Roming： XXXXXX」	※IIJモバイルサービス/タイプKは、国際ローミングをサポートしておりません。

※ローミング設定を「オン」にすると、接続モードが「LTE」に変更されます。

Resetボタン

操作	機能	ディスプレイ表示	説明
5秒以上押す	設定内容を、お買い上げ時の状態に戻す	「All Reset」	Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを使用してリセットすることもできます。詳しくは、72ページの「オールリセット」をご覧ください

ディスプレイの表示について

① 受信レベル表示

LTEで接続時

					圏外		
強	◀	▶	弱		圏外	強	◀ ▶ 弱	未接続

② 接続中のネットワーク表示

LTE	LTE方式で接続中(↑：送信中、↓：受信中)
	GPRS方式で接続中(↑：送信中、↓：受信中)
非表示	インターネットに未接続
	Wi-Fiで接続中(①にWi-Fiの受信レベルが表示されているとき)

③ 電池残量表示

						(点滅)		(アニメーション)	
十分	◀	▶	不足		要充電		充電中	

※充電が必要な状態になるとアニメーション/テキスト表示部に「Low Battery」と表示されます。

④ アニメーション/テキスト表示
詳しくは、21ページの「アニメーション、テキスト表示について」をご覧ください。

⑤ 無線LAN状態表示/接続端末数表示

										非表示
接続端末なし					接続端末1台～10台					無線LANオフ(Wi-Fiモジュールオフ)

⑥ ローミング状態表示
ローミングサービスで接続中に表示されます。

⑦ PRL更新状態表示
PRL更新に失敗すると⚠が表示されます。

参考

・無線LAN機能のオン及びオフは、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールで行います。詳しくは、49ページの「LAN設定」の「基本設定」をご覧ください。
・通信機能の自動切断時間の変更は、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールで行います。詳しくは、70ページの「省電力モード設定」をご覧ください。省電力モード設定により切断された通信機能を再度接続するには、いずれかのボタンを押します。
・ディスプレイの消灯時間の変更は、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールで行います。詳しくは、71ページの「ディスプレイ設定」をご覧ください。再度ディスプレイを点灯させるには、いずれかのボタンを押します。

アニメーション、テキスト表示について

本製品は、通信状態や異常をお知らせする情報を、アニメーションやテキストによって表示します。

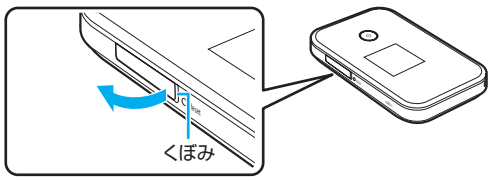
ディスプレイ表示	説明
	PRL（ローミングエリア情報）を更新しています。結果に応じて次のように表示されます 更新成功（自動的に再起動されます） 更新失敗
	インターネットへ接続しています
Downloading...	新しいソフトウェアをダウンロードしています
Download Cancel	新しいソフトウェアのダウンロードが中断されました
Download Failed	新しいソフトウェアのダウンロードに失敗しました
	ソフトウェアをアップデートしています。結果に応じて次のように表示されます Upgrade Successfully：アップグレード成功 Upgrade failed：アップグレード失敗
Enter Pin	SIMカードのPINコードを入力してください
Enter PUK	SIMカードのPINロック解除コードを入力してください
Insert UIM	SIMカードを取り付けてください
Invalid USIM	•SIMカードが完全ロック状態です •無効なICカードが取り付けられています
Low Battery	充電してください
Invalid Battery	内蔵電池が故障しています。直ちに使用をやめ、IIJサポートセンターまでご連絡ください
Temp Too High	内蔵電池が高温になっています。電源を切り、しばらくしてからお使いください
Temp Too Low	内蔵電池が低温になっています
	充電中（電源が入っていない状態）

SIMカードの取り付けと取り外し

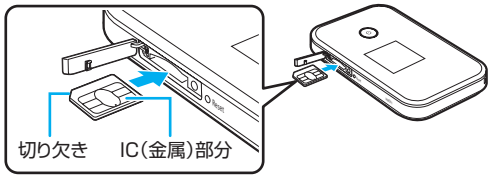
SIMカードの取り付けと取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。
microUSBケーブルが接続されているときは取り外してください。

SIMカードを取り付ける

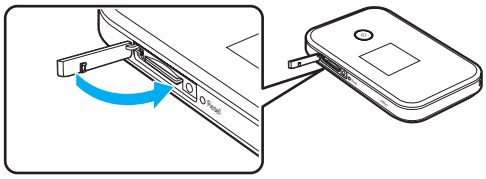
1. SIMカードスロットのカバーを開きます。
   カバーの横のくぼみにツメをかけ、図に示す矢印の方向に引きます。



2. SIMカードをスロットに差し込みます。
   IC（金属）面を上にして、図に示す切り欠き部分で方向を確認してから差し込んでください。
   • カチッと音がするまで押し込みます。

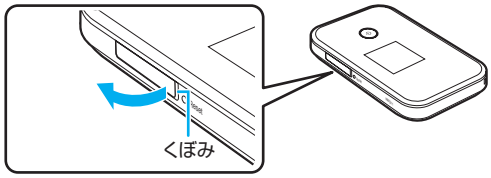


3. SIMカードスロットのカバーを閉じます。

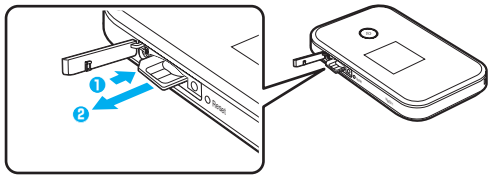


SIMカードを取り外す

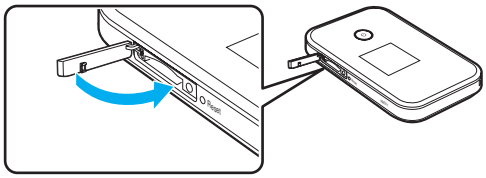
1. SIMカードスロットのカバーを開きます。
   カバーの横のくぼみにツメをかけ、図に示す矢印の方向に引きます。



2. SIMカードをスロットから取り出します。
   スロットに差し込まれているカードをカチッと音がするまで押し込むと（❶）、ロックが外れてカードの先端が出てきます。そのまま引き出してください（❷）。
   • ロックされている状態から無理に引き抜かないように注意してください。



3. SIMカードスロットのカバーを閉じます。



充電

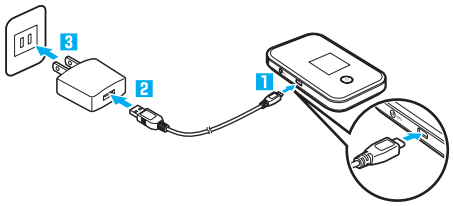
お買い上げ時は、内蔵電池が十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。電池残量はディスプレイ上部の電池残量表示で確認できます。詳しくは、20ページの「ディスプレイの表示について」をご覧ください。

ACアダプタを使って充電する

1. 本製品のmicroUSBコネクタにmicroUSBケーブルを接続します。
   コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。

2. microUSBケーブルのもう一方のコネクタをACアダプタに接続します。
   コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。

3. ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込みます。



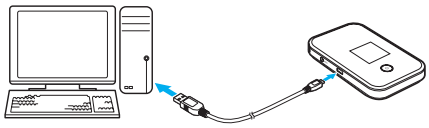
4. 充電が終わったら、本製品からmicroUSBケーブルをまっすぐ引き抜きます。

5. ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜きます。

参考
・充電時間は約180分です(付属のACアダプタを使用した場合)。

パソコンを使って充電する

1. 本製品のmicroUSBコネクタにmicroUSBケーブルを接続します。
   コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。



2. microUSBケーブルのもう一方のコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。
   コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。
   •本製品を初めて接続したパソコンには、Wi-Fi WALKER LTE setting toolがインストールされます。アンインストールする場合は、手動で行ってください。詳しくは、34ページの「Wi-Fi WALKER LTE setting toolのアンインストール」をご覧ください。

3. 充電が終わったら、本製品からmicroUSBケーブルをまっすぐ引き抜きます。

パソコンを使って充電のみするには

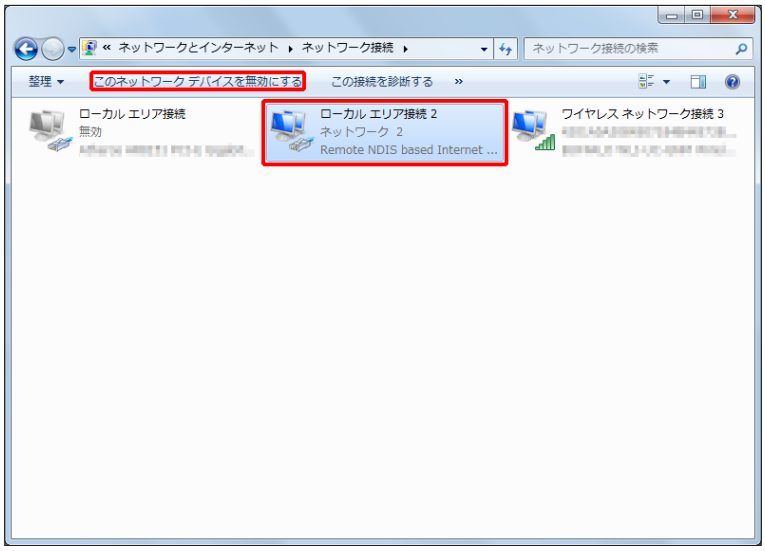
パソコンに接続して充電する場合は、Wi-Fi WALKER LTEの通信機能を停止すると効率よく充電できます。通信機能は電池を消耗します。お出かけ前などに充電だけ行いたいときは、以下の手順で通信機能を停止してください。

［Windowsパソコンの場合］
表示画面や操作手順はWindows 7で設定する場合を例に説明しています。

1. 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット」、「ネットワークと共有センター」の順に選択します。

2. 「アダプターの設定の変更」を選択します。

3. 本製品のネットワークデバイスを選択し、「このネットワークデバイスを無効にする」を選択します。



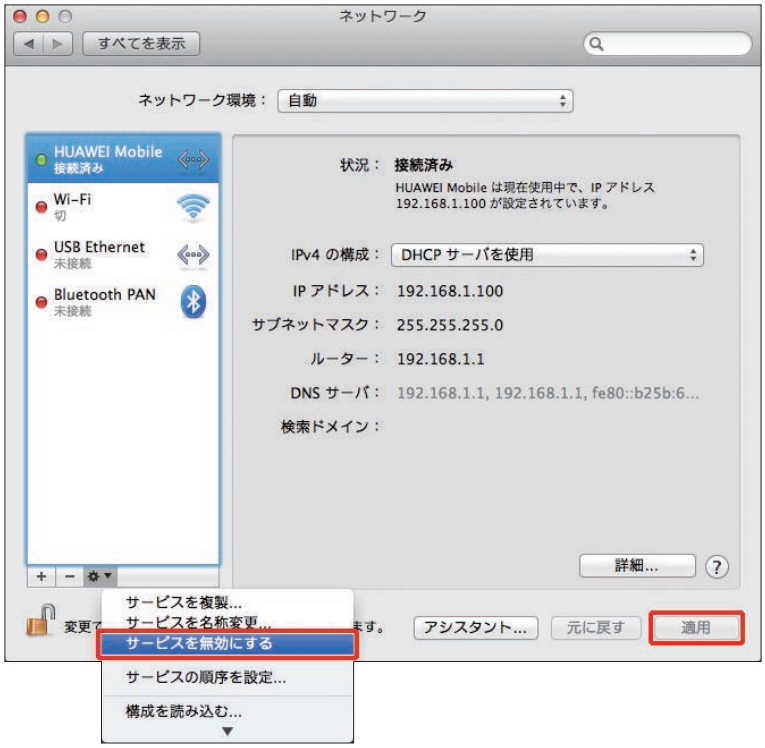
4. 充電が完了したら、手順3の画面で「このネットワークデバイスを有効にする」を選択し、通信機能を再起動します。

［Macの場合］
表示画面や操作手順はMac OS X 10.7で設定する場合を例に説明しています。

1. アップルメニューから「システム環境設定...」を選択し、「ネットワーク」を選択します。

2. 「HUAWEImobile」を選択します。

3. から「サービスを無効にする」を選択し、「適用」を選択します。

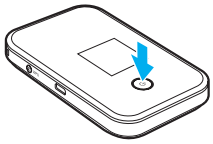


4. 充電が完了したら、手順3の画面で「サービスを有効にする」を選択し、「適用」を選択します。

参考
- ACアダプタを使用して充電する場合よりも、充電時間が長くなることがあります。
- 電源を切っている間でも、充電中は充電中を示すアニメーションがディスプレイに表示されます。自動的にディスプレイは消灯しますが、いずれかのボタンを軽く押すと、ディスプレイが点灯して電池アイコンが表示され、充電が完了していることを確認できます。

電源を入れる、切る

1. 電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れます。
電源を入れると、インターネットに自動的に接続されます。
また、無線LAN機能がオンになり、Wi-Fiが表示されます。
- Wi-Fiが表示されない場合は、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールで「Wi-Fiモジュール」を「オン」に設定してください(49ページ)。
- 製品本体のボタン操作では、無線LAN機能のオン/オフは設定できません。



2. 電源ボタンを約3秒以上押して電源を切ります。

参考
- SIMカードでPINコードが有効に設定されている場合は、本製品の電源を入れたときにディスプレイに「Enter PIN」と表示されます。PINコードは、対応するWebブラウザが搭載された端末機器でのみ入力できます。対応するWebブラウザが搭載された端末が接続されていない場合は、PINコードを無効に設定してください。詳しくは、47ページの「PINコード管理」をご覧ください。
- microUSBケーブルでパソコンまたは、ACアダプタに接続している状態で電源を切った場合に、再度電源を入れるときは、本製品からmicroUSBケーブルを取り外してください。

強制的に電源を切るには

電源ボタンを約10秒以上押すと、強制的に電源が切れます。本製品が動作しなくなったときなどに、電源を入れ直すことができます。

IIJ mobile
モバイル

無線LAN接続

無線LAN機能について

本製品はIEEE802.11b/g/nの無線LAN規格に準拠しており、本製品と無線LAN端末(パソコンなど)を無線LANで接続して、最大72Mbps (IEEE802.11n接続時)、最大 54Mbps (IEEE802.11g接続時)、または最大11Mbps (IEEE802.11b接続時)のデータ通信ができます。
また、本製品はWPS (Wi-Fi Protected Setup)機能に対応しており、お使いの無線LAN端末がWPS機能に対応している場合には、無線LANの接続設定を簡単に行うことができます。WPS機能に対応していない無線LAN端末でも、本製品に設定されたSSIDと暗号化キーを入力するだけで簡単に接続できます。
お客様が変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線LAN電波ですので接続しないよう注意してください。
ここでは、本製品とWindowsパソコンまたはMacを初めて無線LAN接続する場合の操作について説明しています。

参考
- これらの設定は、初めて接続するときに行います。一度設定した後は、本製品と無線LAN端末の無線LAN機能をオンにするだけで、自動的に接続が再開されます(無線LAN端末側で自動的に再接続する設定がされている場合)。
- 一度設定を完了すると、周囲に接続可能なワイヤレスネットワークが存在する場合は、設定済みのワイヤレスネットワークへ自動的に接続されます。接続可能なワイヤレスネットワークが複数存在する場合は、最後に設定したワイヤレスネットワークに接続します。
- 必要に応じて、無線LAN機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、43ページの「各種機能の詳細設定」をご覧ください。
- セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名(SSID)及び暗号化キーを変更してお使いいただくことをお勧めします。変更方法については、50ページの「セキュリティ設定」をご覧ください。
- 本製品は無線LAN端末を同時に10台まで接続することができます。
- 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。

SSID2 (WEP)について

無線LANのセキュリティ設定が「SSID1 (WPA2/WPA)」に対応していない場合は、「SSID2 (WEP)」で無線LAN接続する必要があります。
Wi-Fi WALKER LTEでは、お買い上げ時の状態で「SSID2 (WEP)」はご利用になれません。下記手順に従って、「SSID2 (WEP)」を有効にしてください。

[本体のボタン操作で設定する場合]
本体のWPSボタンを約2秒以上押し、「Mode Switch : LTE」にしてください。
詳しくは、18ページの「本体のボタン操作について」をご覧ください。
※ローミングモードが「オン」になっている場合は、電源ボタンとWPSボタンを同時に押し、「Roming : off」にしてから行ってください。

[Wi-Fi WALKER LTE設定ツールで設定する場合]
① Wi-Fi WALKER LTE設定ツールにログインします。
② 「WAN設定」の「接続モード」を「LTE」にします。
詳しくは、44ページの「WAN設定」をご覧ください。

参考
- 「LAN設定」の「セキュリティモード」で「SSID2モジュール」が「オフ」に設定されている場合は、「オン」にしてください。詳しくは、49ページの「LAN設定」の「セキュリティ設定」をご覧ください。

Windowsパソコンの接続

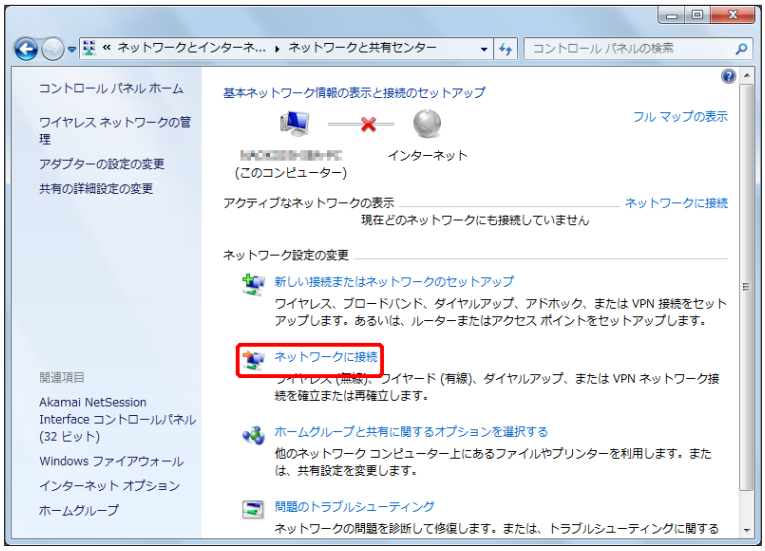
画面表示や手順はWindows 7で、本製品の「SSID1（WPA2/WPA）」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1. 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れます。
   インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN機能がオンになり、Wi-Fiが表示されます。
   •Wi-Fiが表示されないときは、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールで「Wi-Fiモジュール」をオンに設定してください。 詳しくは、49ページの「LAN設定」をご覧ください。

2. パソコンの無線LAN機能をオンにします。

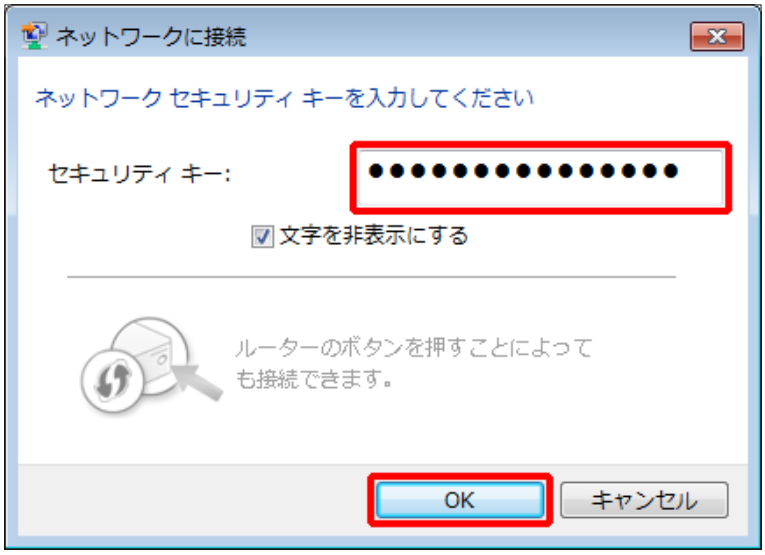
3. 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット」、「ネットワークと共有センター」の順に選択します。

4. 「ネットワークに接続」を選択します。



5. 本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、「接続」を選択します。
   •「自動的に接続する」にチェックが入っていることを確認してください。
   •本製品の「SSID1」の設定を変更している場合は、設定している名称の項目を選択します。

6. 事前共有キーを「セキュリティキー」に正しく入力し、「OK」を選択します。



・手順 3 ～ 4、またはタスクトレイの アイコンを選択して接続状態の画面を開き、「接続」が表示されていることを確認します。

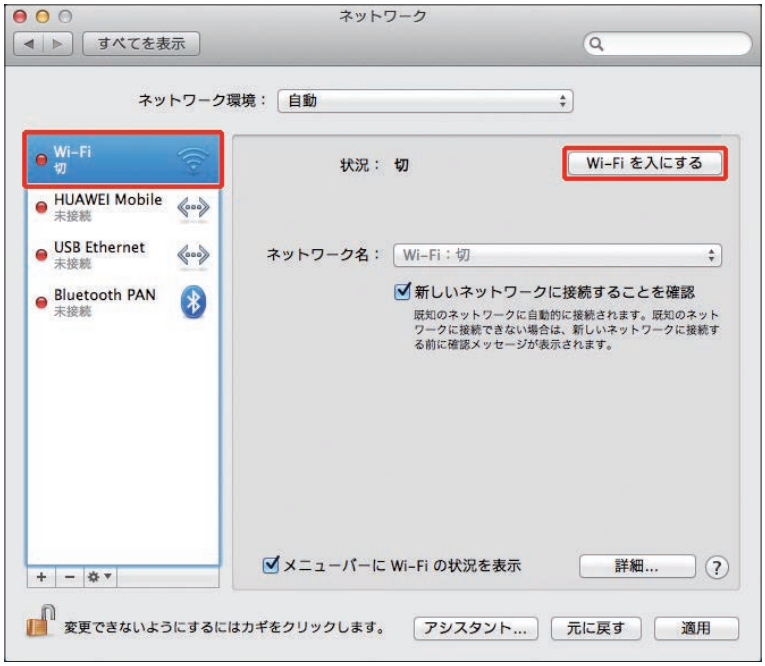
Macの接続

画面表示や手順はMac OS X 10.7で、本製品の「SSID1（WPA2/WPA）」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1. 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れます。
   インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN機能がオンになり、Wi-Fiが表示されます。
   ・Wi-Fiが表示されない場合は、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールで「Wi-Fiモジュール」をオンに設定してください。詳しくは、49ページの「LAN設定」をご覧ください。

2. アップルメニューから「システム環境設定...」を選択し、「ネットワーク」を選択します。

3. 「Wi-Fi」を選択し、「Wi-Fiを入にする」を選択して無線LAN機能をオンにします。

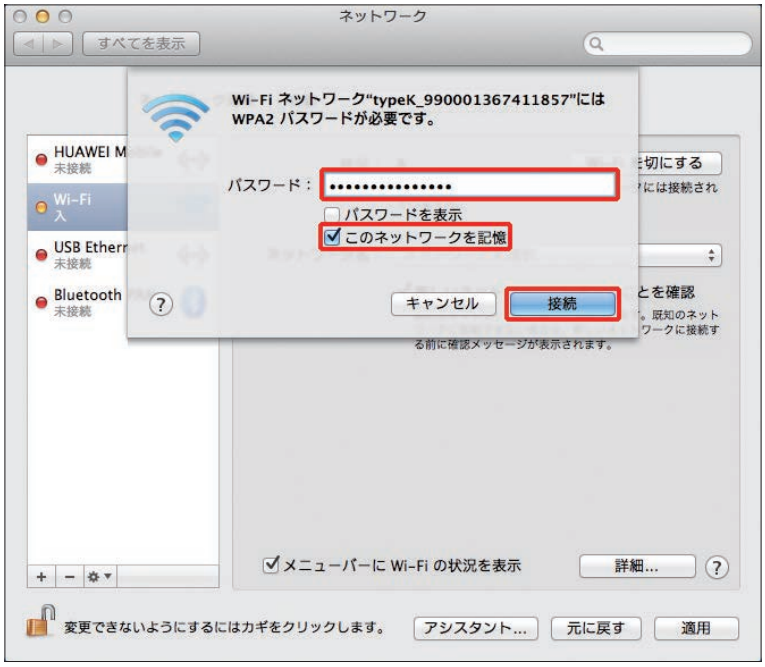


参考

・「新しいネットワークに接続することを確認」にチェックが入っていると、Wi-Fiを入にしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。
その場合は、キャンセルを選択して「ネットワーク」の画面に戻ってください。

4. 「ネットワーク名」のプルダウンリストから本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択します。
•本製品の「SSID1」の設定を変更している場合は、設定している名称の項目を選択します。

5. 事前共有キーを「パスワード」に正しく入力し、「このネットワークを記憶」を選択してチェックを付け、「接続」を選択します。



6. 「ネットワーク名」が本製品の「SSID1」になっていることを確認し、「適用」を選択します。

WPS対応の無線LAN端末の接続

参考

- WPS機能の接続設定は機器によって異なりますので、お使いの無線LAN端末に添付されている取扱説明書などをご覧ください。
- WPS機能は「SSID1」に対応しています。WPS機能を使用して、「SSID2」に接続することはできません。
- 本製品の「SSID1」のSSIDステルス機能が有効になっているとWPS機能は使用できません。SSIDステルス機能については、50ページの「セキュリティ設定」をご覧ください。
- 本製品のWPS機能は約2分間有効です。WPS機能をONにしてから約2分以内に、無線LAN端末でWPS接続を完了してください。

1. 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れます。
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN機能がONになり、Wi-Fiが表示されます。
•Wi-Fiが表示されない場合は、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールで「Wi-Fiモジュール」をONに設定してください。 詳しくは、49ページの「LAN設定」をご覧ください。

2. 無線LAN端末の無線LAN機能をONにし、必要に応じてWPS設定の準備操作を行います。

3. WPSボタンを約4秒以上押します。
本製品のディスプレイにWPS設定状態を示すアイコンがアニメーション表示されると、WPS機能がONになります。

4. 無線LAN端末でWPS機能の接続操作を行います。
設定に成功すると、接続中を示すアイコンが表示されます。
•お使いの無線LAN端末によって操作は異なります。
•無線LAN端末でその他の設定が必要な場合には、画面表示に従って設定操作を行ってください。

参考

- お使いのWPS対応の無線LAN端末にWPS用のPINコードが指定されている場合は、指定されたPINコードをあらかじめ本製品の設定項目「WPS PINコード」に設定しておく必要があります。詳しくは、52ページの「WPS設定」をご覧ください。また、「WPS PINコード」を設定すると、本製品のWPS機能がONになります。約2分以内に、無線LAN端末でWPS機能の接続操作を行ってください。

USB接続

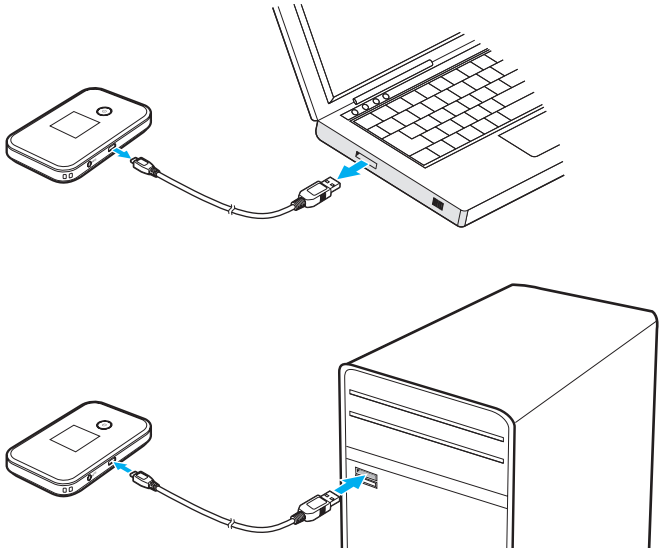
WindowsパソコンへのUSBでの接続

本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続して使用する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから接続してください。

Windowsパソコンに取り付ける

1. 本製品のmicroUSBコネクタにmicroUSBケーブルを接続します。

2. microUSBケーブルのもう一方のコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。
パソコンがデータ通信端末(本製品)を認識します。ご使用のパソコンによっては、時間がかかる場合があります。



Wi-Fi WALKER LTE setting toolをインストールする

本製品を初めて接続したパソコンに、Wi-Fi WALKER LTE setting toolをインストールします。
画面表示や手順はWindows 7を例としています。

参考

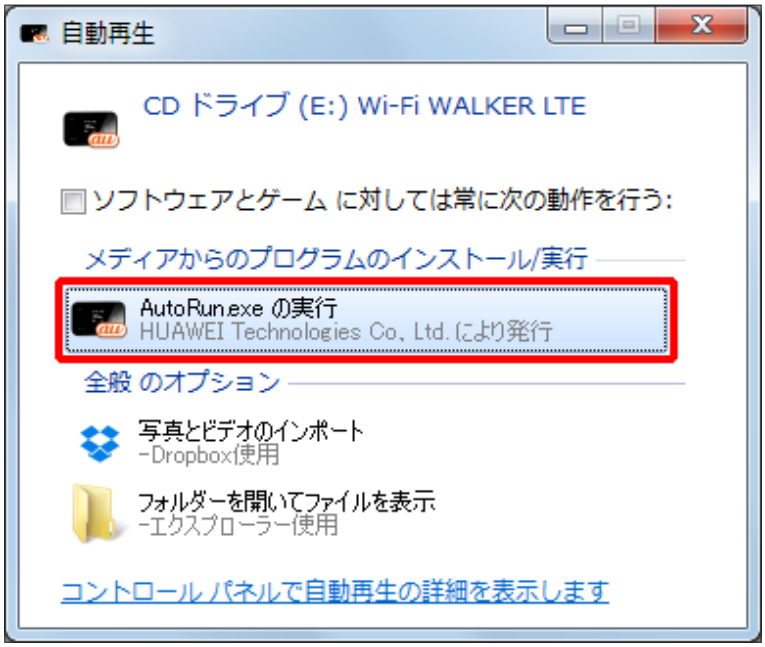
・管理者権限(Administrator)でログインしてください。
・インストール中に本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われない、システムがダウンするなどの異常を起こすおそれがあります。

1. パソコンの電源を入れ、OSを起動します。

2. 本製品の電源ボタンを3秒以上押して電源を入れます。

3. 本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続します。
パソコンがデータ通信端末(本製品)を認識します。ご使用のパソコンによっては、時間がかかる場合があります。

4. 「AutoRun.exeの実行」を選択します。



「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」(Windows Vistaの場合は「続行」)をクリックします。
- インストールが開始されます。デスクトップに「Wi-Fi WALKER LTE setting Tool」のショートカットアイコンが表示され、インストールが完了します。
- Windows 8、Windows 7及びWindows Vistaで「自動再生」の設定を変更している場合は、「AutoRun.exeの実行」は表示されずにインストールが開始されます。

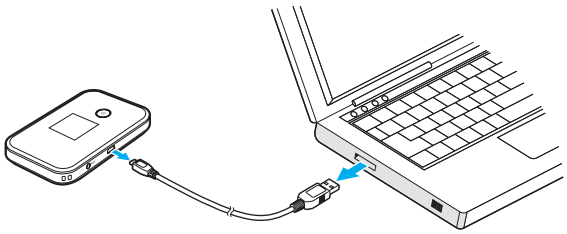
参考
・本製品をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ(サスペンド及びレジューム)、または休止(ハイバネーション)を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スタンバイ(サスペンド及びレジューム)、または休止(ハイバネーション)を行ってください。また、本製品を取り付けた状態で、再起動したり電源を入れたりすると正常に動作しない場合があります。この場合は、パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

Windowsパソコンから取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外します。
※データ通信中は本製品を取り外さないでください。

1. パソコンからmicroUSBケーブルを取り外します。

2. 本製品からmicroUSBケーブルを取り外します。



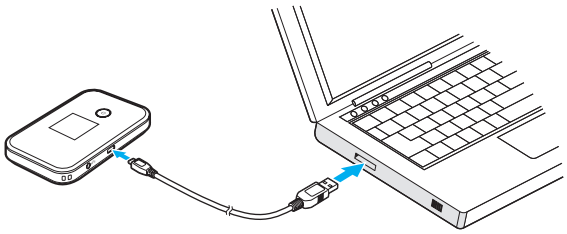
MacへのUSBでの接続

本製品とMacをmicroUSBケーブルで接続して使用する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから接続してください。

Macに取り付ける

1. 本製品のmicroUSBコネクタにmicroUSBケーブルを接続します。

2. microUSBケーブルのもう一方のコネクタをMacのUSBポートに接続します。
   Macがデータ通信端末(本製品)を認識します。ご使用のMacによっては、時間がかかる場合があります。



Wi-Fi WALKER LTE setting toolをインストールする

本製品を初めて接続したパソコンに、Wi-Fi WALKER LTE setting toolをインストールします。
画面表示や手順はMac OS X 10.7を例としています。

参考

・管理者権限(Administrator)でログインしてください。
・インストール中に本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われない、システムがダウンするなどの異常を起こす恐れがあります。

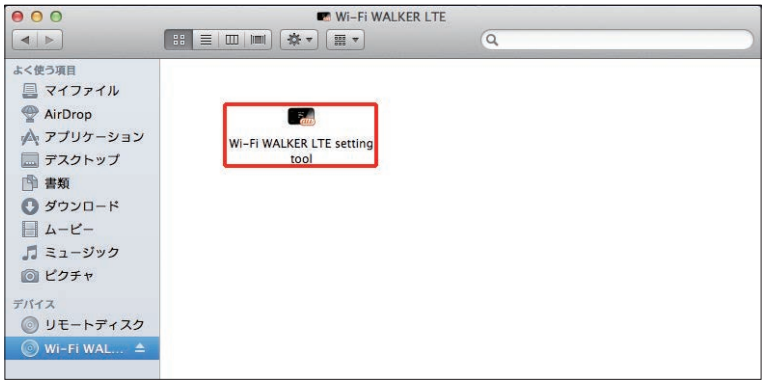
1. パソコンの電源を入れ、OSを起動します。

2. 本製品の電源ボタンを3秒以上押して電源を入れます。

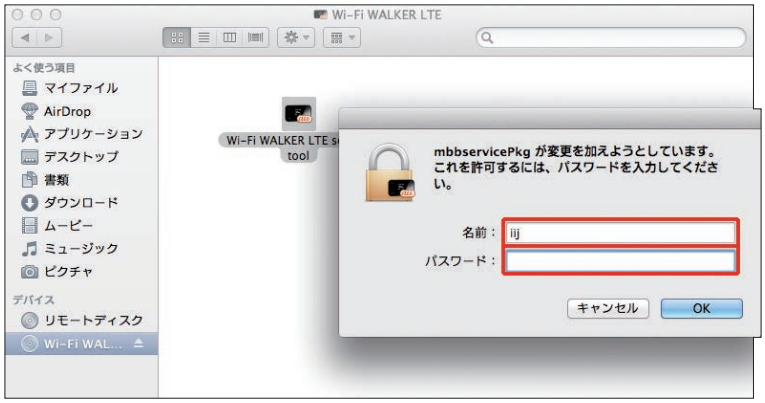
3. 本製品とMacをmicroUSBケーブルで接続します。
   Macがデータ通信端末(本製品)を認識します。ご使用のMacによっては、時間がかかる場合があります。

4. を選択して、Finderの画面を表示させ、「デバイス」から「Wi-Fi WALKER LTE」を選択します。
   すでにインストールされている場合は、「Wi-Fi WALKER LTE」は表示されません。

5. 「Wi-Fi WALKER LTE setting tool」を選択します。



6. お使いのMacの名前(ユーザ名)とパスワードを入力し、「OK」を選択します。



インストールが完了すると、Dockに「Wi-Fi WALKER LTE setting tool」が登録されます。

参考

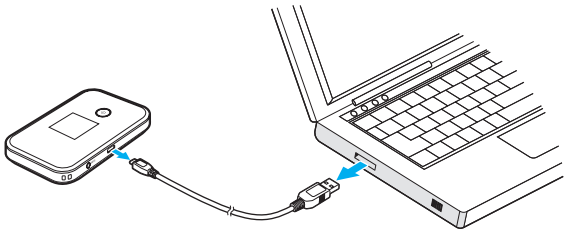
・本製品をMacに取り付けた状態でスリープを行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スリープを行ってください。また、本製品を取り付けた状態で再起動したり電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。この場合は、Macを起動する前に本製品を取り外してください。

Macから取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外します。
※データ通信中は本製品を取り外さないでください。

1. MacからmicroUSBケーブルを取り外します。

2. 本製品からmicroUSBケーブルを取り外します。



Wi-Fi WALKER LTE setting toolのアンインストール

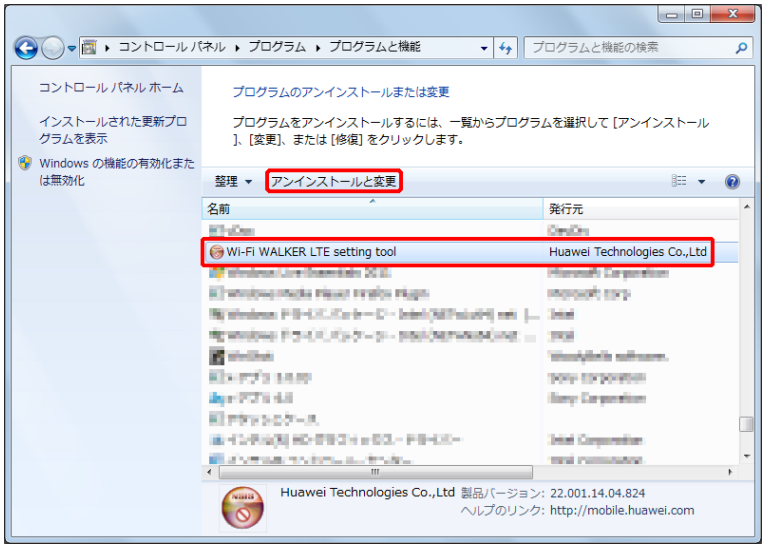
本製品を初めて接続したパソコンには、Wi-Fi WALKER LTE setting toolがインストールされます。パソコンに本製品を接続してお使いにならない場合は、アンインストールすることもできます。

Windowsパソコンからアンインストールする

画面表示や手順はWindows 7を例としています。

1. 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択し、「プログラム」、「プログラムと機能」の順に選択します。
※Windows 8の場合は、デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅または右下隅に移動)し、「設定」、「コントロールパネル」、「プログラム」、「プログラムと機能」の順に選択します。

2. 「Wi-Fi WALKER LTE setting tool」を選択し、「アンインストールと変更」を選択します。



「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」（Windows Vistaの場合は「続行」）をクリックします。
アンインストールが完了すると、デスクトップ画面から「Wi-Fi WALKER LTE setting tool」のアイコンが消えます。

Macからアンインストールする

画面表示や手順はMac OS X 10.7を例としています。

1. アプリケーションの画面を表示します。

2. 「Wi-Fi WALKER LTEUninstall」アイコンを選択します。

3. アンインストールの確認画面で「OK」を選択します。
認証画面が表示されます。

4. お使いのMacの名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「OK」を選択します。

アンインストールが完了すると、Dockから「Wi-Fi WALKER LTE setting tool」のアイコンが消えます。

IIJ mobile
モバイル

インターネット接続

インターネットへの接続

本製品は、無線LAN接続またはUSB接続した端末から、LTE方式やWi-Fiを使用したインターネット接続によるデータ通信が行えます。
・LTE方式利用時の最大通信速度：受信75Mbps、送信25Mbps
・Wi-Fi利用時の最大通信速度：72Mbps（IEEE802.11n接続時）

参考
・本製品の通信は、ベストエフォート方式です。記載の速度は技術規格上の最大値であり、実効速度を示すものではありません。また、回線の混雑状況により通信速度が切り替わります。

インターネットへの接続及び切断

本製品でインターネット接続する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してください。本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。

接続モードの切り替え

インターネット接続中に受信レベルが不安定になったり圏外になったりしたときなど、接続モードを切り替えると安定した受信レベルでの通信ができる場合があります。

1. インターネット接続中に、WPSボタンを約2秒押します。
   アニメーション/テキスト表示エリアに「Mode Switch」と表示され、接続モード表示が切り替わります。

IIJ mobile
モバイル

Wi-Fi WALKER LTE設定ツール

本製品にmicroUSBケーブルまたは無線LANで接続したパソコンなどのWebブラウザから、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを使用して本製品の各種機能を設定することができます。
無線LANで接続してWi-Fi WALKER LTE設定ツールを使用する場合は、「SSID1」を使用してください。「SSID2」を使用して接続すると、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを使用できません。

参考

- 無線LANでWi-Fi WALKER LTE設定ツールに接続して「DHCP設定」や「LAN設定」の設定内容を変更すると、無線LANの接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンの設定変更が必要になりますのでご注意ください。
- Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを同時に複数の端末でログインして表示及び設定することはできません。
- Wi-Fi WALKER LTE設定ツールは、以下のWebブラウザに対応しています。
  Microsoft Internet Explorer 6 ～ 10
  Safari 3 ～ 6
  Firefox 4 ～ 15
  Chrome 10 ～ 21

Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを起動する

画面表示はWindows 7でInternet Explorer 9を使用した場合を例にして説明しています。

1. 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れます。

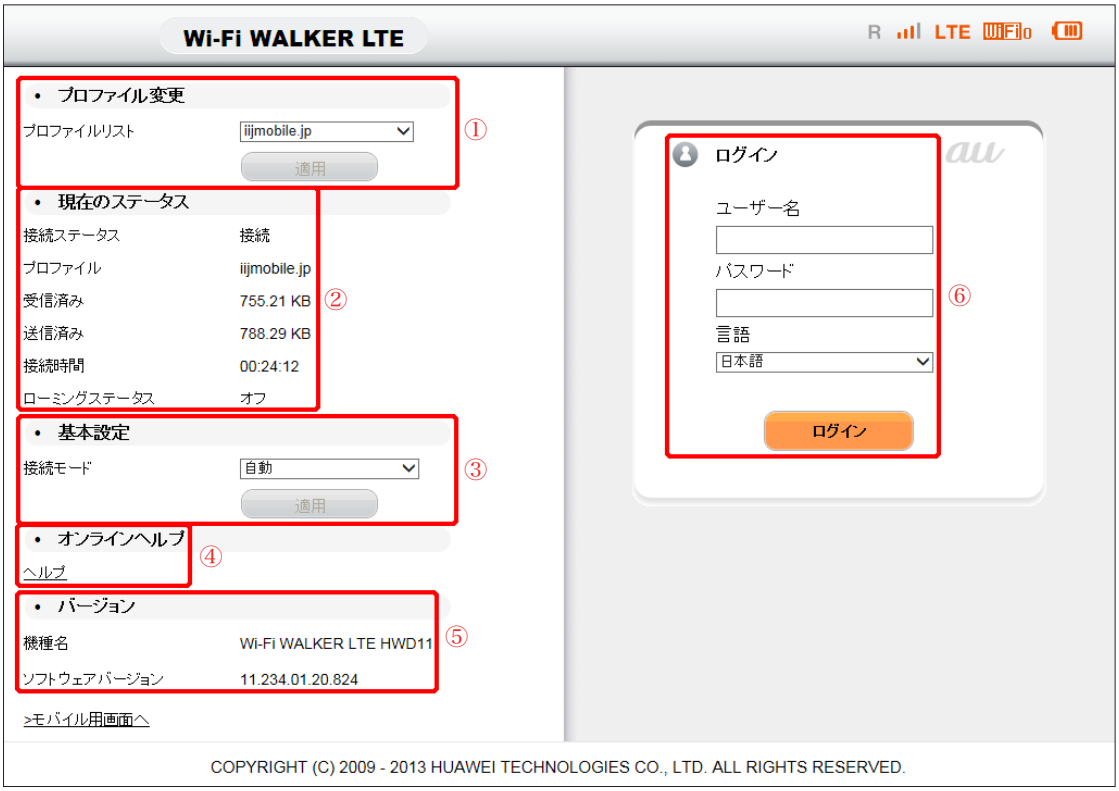
2. 無線LAN端末を起動し、本製品と無線LANで接続します。

3. Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://au.home/」と入力します。
   トップページが表示されます。

参考

- デスクトップ上(Macの場合はDock)にある「Wi-Fi WALKER LTE setting tool」のアイコンをダブルクリックして、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを起動することもできます。「Wi-Fi WAKER LTE setting tool」は、本製品をmicroUSBケーブルでパソコンに接続したときにインストールされます(31ページ)。

Wi-Fi WALKER LTE設定ツールのトップページ



① プロファイル変更
プロファイルリストからプロファイルを選択します。本製品には「iijmobile.jp」に接続するためのプロファイルがあらかじめ用意されています。ご自分で加入されたインターネットサービスプロバイダの指定に応じて、新しいプロファイルを作成することもできます。詳しくは、45ページの「プロファイル設定」をご覧ください。

② 現在のステータス
本製品の現在の通信状態(ステータス)が表示されます。

③ 基本設定
接続モードのリストからネットワークへの接続方法を選択します。本製品では、LTE方式またはWi-Fiを使ってインターネットへ接続できます。

④ オンラインヘルプ
オンラインヘルプを表示します。

⑤ バージョン
本製品の機種名とソフトウェアバージョンが表示されます。本製品に内蔵されたソフトウェアは、インターネットを通じて最新のバージョンにアップデートできます。詳しくは、74ページの「オンラインアップデート」をご覧ください。

⑥ ログイン
ユーザー名とパスワードを入力してWi-Fi WALKER LTE設定ツールにログインします。詳しくは、40ページの「Wi-Fi WALKER LTE設定ツールにログインする」をご覧ください。

Wi-Fi WALKER LTE設定ツールにログインする

1. ユーザー名「admin」とパスワードを入力して、「ログイン」を選択します。
   - お買い上げ時のWi-Fi WALKER LTE設定ツールのログインパスワードは、WEPキーと同じものが設定されています。
   - 必要に応じて、「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

ログインに成功すると、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールの設定画面が表示されます。

参考

- WEPキーは、本体背面に刻印された「IMEI」番号の下5桁と同一です。
- セキュリティ保護のため、お買い上げ時のパスワードは変更することをお勧めします。変更方法については、68ページの「パスワード変更」をご覧ください。
- Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを5分間操作しない場合は、自動的にログアウトし、トップページに戻ります。入力中の項目は適用されないため、ご注意ください。

Wi-Fi WALKER LTE設定ツールの設定画面

① メニューナビ
メニュー項目を選択して切り替えます。

② サブメニュー
サブメニュー項目を選択して切り替えます。

③ 設定ページ
各機能の設定及び情報画面が表示されます。

④ ローミング設定表示
ローミング設定がONのときに、ローミングサービス(通信事業者)のネットワークに接続されると表示されます。
※IIJモバイルサービス/タイプKは、国際ローミングをサポートしておりません。

⑤ 受信レベル表示
現在の受信レベルが表示されます。

⑥ 接続ネットワーク表示
LTE方式で接続しているときに表示されます。

⑦ LAN接続状態表示
無線LAN機能がONのとき点灯し、無線LAN接続中は接続端末数が表示されます。

⑧ 電池残量表示

⑨ ログアウト
選択するとWi-Fi WALKER LTE設定ツールからログアウトします。

⑩ ヘルプ
本製品のサポート及びアップデート情報に関するサイトのURLが表示されます。

インターネットや無線LANの情報

1. メニューナビから「接続」を選択します。
   サブメニューが表示されます。

2. 確認したい項目を選択します。

接続ステータス

インターネット接続、LAN接続、ローミングについての情報が表示されます。

参考

・表示される受信データ量及び送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。
・無線LAN接続の受信データ量及び送信データ量及び接続時間は、データ通信が切断されたり、本製品を再起動した場合はリセットされます。

情報

本製品の端末情報が表示されます。

「詳細」を選択すると、無線LANの接続状態と認証局の情報が表示されます。

各種機能の詳細設定

1. メニューナビから「設定」を選択します。
   サブメニューが表示されます。

2. 設定する機能を選択します。
   - WAN設定
     WAN機能に関する詳細機能を設定します(44ページ)。
   - LAN設定
     無線LAN機能に関する詳細機能を設定します(49ページ)。
   - Wi-Fiスポット接続
     現在使用可能なアクセスポイントをスキャンし、接続します(54ページ)。
   - ファイアウォール設定
     ファイアウォール機能に関する詳細設定を行います(56ページ)。
   - システム設定
     システムに関する詳細機能を設定します(68ページ)。

WAN設定

インターネットに接続する方法や利用する通信方式を設定します。

1. サブメニューから「WAN設定」を選択します。

2. 設定する項目を選択します。

基本設定

WANの基本的な機能を設定できます。

参考

・「接続モード」を「自動」または「Wi-Fi」に設定すると、SSID2（WEP）が無効になり、「LAN設定」の「基本設定」にある「Wi-Fiチャンネル」が「Auto」に変更されます。詳しくは、49ページの「基本設定」をご覧ください。

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
接続モード	ネットワークへの接続方法を設定します	自動、LTE、Wi-Fi※1	自動※2

※1　Wi-Fiで接続する場合は、「Wi-Fiスポット接続」（54ページ）を行う必要があります。
※2　製品本体のWPSボタンで接続モードを切り替えた場合は、切り替え後のモードが表示されます。

2. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

接続設定

インターネットへの接続を設定できます。

1. 「プロファイルリスト」から、デフォルトに設定するプロファイルを選択します。

2. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	設定するプロファイルを選択します	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大5件	iijmobile.jp
MTU(Bytes)	最大転送ユニットサイズを指定します	1400 ～ 1500	1420

3. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

プロファイル設定

プロファイル(接続設定)を新規作成、編集、削除できます。
あらかじめ設定されている1つのプロファイル(iijmobile.jp)以外に、4件までプロファイルを追加できます。

プロファイルを新規作成する場合

1. 「新規」を選択します。

2. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト※1	編集または削除するプロファイルを選択します	お買い上げ時に登録されているプロファイルを除き最大4件※2	iijmobile.jp
プロファイル名	新規に設定する場合は、任意のプロファイル名を入力します	半角英数字と半角記号で最大32文字※3 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	iijmobile.jp
APN (接続先情報)	アクセスポイント名(APN)を設定します	半角英数字と半角記号で最大32文字※3 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	k.iijmobile.jp
ユーザー名	ユーザー名を設定します	半角英数字と半角記号(. - _ / @)で最大45文字	mobile@iij
パスワード	パスワードを設定します	半角英数字と半角記号(! # $ % & ( ) * + - . / : ; < > = ? @ [ ] _ { })で最大16文字	iij※4
認証タイプ	認証方式を設定します	CHAP、PAP	CHAP
IPタイプ	IPタイプを選択します	IPv4、IPv6、IPv4 & IPv6	IPv4

※1　新規作成時には表示されません。
※2　お買い上げ時、本製品にはプロファイル「iijmobile.jp」が設定されています。
　　このプロファイルは、削除または編集できません。
※3　全角文字を入力できますが、保存できません。
※4　画面には「●●」で表示されます。

3. 設定完了後、「保存」を選択し、「続行」を選択します。

作成したプロファイルを編集する場合

1. 「プロファイルリスト」から編集するプロファイルを選択します。

2. 各項目を編集します。

3. 編集完了後、「保存」を選択し、「続行」を選択します。

削除する場合

1. 「プロファイルリスト」から削除するプロファイルを選択します。

2. 「削除」を選択します。

3. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。

PINコード管理

SIMカードにPIN（暗証番号）を設定し、本製品をパソコンなどに接続したときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

PINコードを有効にする場合

1. 「PINコード操作」から「有効にする」を選択します。

2. 「現在のPINコード」に正しいPINコードを入力します。
   ※お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。

3. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。
   ※次回、起動時より有効になります。

PINコードを無効にする場合

PINコードが有効の場合に、PINコードを無効にします。

1. 「PINコード操作」から「無効にする」を選択します。

2. 「現在のPINコード」に正しいPINコードを入力します。

3. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

PINコードを変更する場合

PINコードが有効のとき、必要に応じて4桁から8桁までのお好きな番号にPINコードを変更することができます。

1. 「PINコード操作」から「変更する」を選択します。

2. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のPINコード	現在設定されているPINコードを入力します	4桁から8桁までの数字	※
新しいPINコード	PINコードを変更する場合に、新しいPINコードを入力します	4桁から8桁までの数字	なし
確認用PINコード	確認のため、新しいPINコードを再入力します	4桁から8桁までの数字	なし

※お買い上げ時のSIMカードのPINコードは、「1234」に設定されています。

3. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

認証を行う場合

PINコードを有効に設定してから本製品の電源を入れると、本体ディスプレイに「Enter PIN」と表示されます。
PIN認証を行うまではインターネットに接続されません。
以下の手順でPIN認証を行ってください。

1. Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを起動します。
「PINコード管理」画面が表示されます。

2. 「現在のPINコード」に正しいPINコードを入力します。

3. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。
インターネットに接続されます。Wi-Fi WALKER LTE設定ツールはトップページに戻ります。

LAN設定

無線LAN機能の各種設定ができます。

1. サブメニューから「LAN設定」を選択します。

2. 設定する項目を選択します。

基本設定

無線LANの基本的な機能を設定できます。

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi モジュール	無線LAN機能のONまたはOFFを設定します	オン、オフ	オン
Wi-Fi チャンネル※	使用チャンネルを選択します	Auto、1、2、…、13	Auto
IEEE802.11 モード	無線LAN機能の動作モードを選択します	802.11b、 802.11g、 802.11b/g、 802.11b/g/n	802.11b/g/n
Wi-Fi データレート (Mbps)	無線LANの通信速度を設定します	Auto、1、2、5.5、 6、7.2、9、11、12、 14.4、18、21.7、 24、28.9、36、 43.3、48、54、 57.8、65、72.2	Auto

※「WAN設定」の「基本設定」にある「接続モード」が「自動」または「Wi-Fi」に設定されている場合は、「Auto」になり変更できません。

2. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

3. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。

参考 ・これらの設定を変更すると、無線LANで接続できなくなることがあります。その場合は、無線LAN端末の接続設定を変更してください。

セキュリティ設定

無線LANのセキュリティ機能を設定できます。

参考

・「WAN設定」の「基本設定」にある「接続モード」（44ページ）が「自動」または「Wi-Fi」に設定されている場合は、SSID2（WEP）の設定項目が表示されません。

SSID1（WPA2/WPA）を設定する場合

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ディスプレイにパスワードを表示する	WPSボタンを続けて2回押したときに、本製品のディスプレイにWPAキーを表示するかどうかを設定します※	—	チェックあり
SSID1（WPA2/WPA）	SSID1のネットワーク名を設定します	半角英数字と半角記号(- _ .)及び半角スペースで最大32文字	※
IEEE802.11認証	認証方式を選択します	WPA/ WPA2-PSK	WPA/ WPA2-PSK
WPA暗号化	暗号化方式を選択します	AES、AES＋TKIP	AES+TKIP
WPA事前共有キー	使用する事前共有キーを指定します	半角英数字と半角記号で8文字以上63文字(, " : ; & ¥ % + > < ? ' は除く)、または64桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F)	
キー更新周期（分）	WPA2/WPAのキー更新頻度を選択します	無し、30、60、90、120	120
SSIDステルス	ネットワーク名が表示されないようにするかどうかを設定します	オン、オフ	オフ
プライバシーセパレータ	無線LAN端末どうしの通信を禁止するかどうかを設定します	オン、オフ	オフ

※SSID2（WEP）をONにしている場合は、SSID2のWEPキーも表示されます。

2. 設定完了後、「適用」を選択します。

3. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。

SSID2（WEP）を設定する場合

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2（WEP）	SSID2のネットワーク名を設定します	半角英数字と半角記号(- _ .)及び半角スペースで最大32文字	
SSID2 モジュール	SSID2を使うかどうかを設定します	オン、オフ	オフ
暗号化方式	暗号化方式を選択します	WEP64、WEP128	WEP64
WEPキー 1 ～ 4	WEPキーを設定します	64bitキー： 半角英数字と半角記号で5文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く) または10桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F) 128bitキー： 半角英数字と半角記号で13文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く) または26桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F)	
現在のネットワークキー	現在のネットワークキーを設定します	1、2、3、4	1
SSIDステルス	ネットワーク名が表示されないようにするかどうかを設定します	オン、オフ	オフ

2. 設定完了後、「適用」を選択します。

3. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。

参考

・「パスワードの表示」にチェックを付けるとパスワードを確認できます。
・これらの設定を変更すると、すでに接続設定済みの無線LAN端末が接続できなくなることがあります。その場合には、無線LAN端末の接続設定を変更してください。
・通信の安全性を高めるためには、SSID2（WEP）よりもSSID1（WPA2/WPA）を使用することをお勧めします。ただしSSID1（WPA2/WPA）で接続できない場合がありますのでご注意ください。

WPS設定

WPS用のPINコードが指定されたWPS対応機器を接続する場合に、指定されているPINコードを設定します。

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS PIN コード	WPS対応機器に指定されている PINコードを設定します	8桁の半角数字	（なし）

2. 設定完了後、「適用」を選択します。

3. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。

参考

・無線LAN機能がONになっていることをご確認の上、WPS設定を行ってください。
・WPS設定を行うとWPS機能がONになります。約2分以内に無線LAN端末でWPS接続を完了してください。

MACアドレスフィルタ

無線LAN端末のMACアドレスを登録して無線LAN接続の許可または拒否を設定し、セキュリティ機能を強化できます。

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi MACフィルタ	MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します	オフ、許可、拒否	オフ
MACアドレス	接続を許可、または禁止する無線LAN端末のMACアドレスを10個まで設定できます	00～FFの6組の番号※	なし

※「FF:FF:FF:FF:FF:FF」は設定できません。

2. 設定完了後、「適用」を選択します。

3. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。

参考

・これらの設定を変更すると、無線LANで接続できなくなることがあります。その場合は、無線LAN端末のMACアドレスを確認し、正しく設定し直してください。
・これらの設定を有効にしている場合は、許可されていない無線LAN端末は、WPS機能を利用しても接続できなくなります。

Wi-Fiスポット接続

外出先などで周辺にある現在使用可能なWi-Fiスポットをスキャンし、表示されたネットワーク名(SSID)を使ってインターネットに接続できます。また、ネットワーク名(SSID)を手動で登録して接続することもできます。16件までWi-FIスポットを追加できます。

参考

- Wi-Fiスポットに接続するときは、接続モードを「自動」または「Wi-Fi」に設定してください(44ページ)。
- 接続には、アクセスポイント(無線LAN親機)側で設定したネットワーク名(SSID)やパスワード(WEPキー、WPAキー、事前共有キー、暗号化キーなど)が必要になることがあります。
- 外出先の公衆無線LANをご利用になる場合は、あらかじめアクセスポイントの設置場所などをサービス提供者にご確認ください。また、サービス提供者との契約、認証用IDとパスワードなどが必要になる場合があります。
- ご自宅や職場などの無線LAN環境でもご利用になれます。
- Wi-Fiスポットを16件を超えて追加した場合は、優先度の低いWi-Fiスポットから削除されます。
- Wi-Fiスポットから取得したWAN IPアドレスが、本製品の「IPアドレス」と同じサブネットワーク内になった場合は、本製品が正常に動作しない場合があります。
  「ファイアウォール設定」の「DHCP設定」(57ページ)の「IPアドレス」を、WAN IPアドレスと同じサブネットネットワーク内にならないように変更してください。

1. サブメニューから「Wi-Fiスポット接続」を選択します。

2. au Wi-FiSPOTのON/OFFを設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
au Wi-Fi SPOT	au Wi-Fi SPOTを使用するかどうかを選択します	オン、オフ	オフ

Wi-Fiネットワークをスキャンして接続する

「Wi-Fiスポット接続」の画面が表示されると、自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始されます。スキャンが終了すると、見つかったWi-Fiネットワークのネットワーク名(SSID)がリストに表示されます。
・スキャンをし直すには「スキャン」を選択します。

1. Wi-Fiネットワークのリストから接続するネットワーク名(SSID)を選択します。
   ・ネットワーク名の右側の空白部分にマウスカーソルを合わせると「接続」が表示されます。

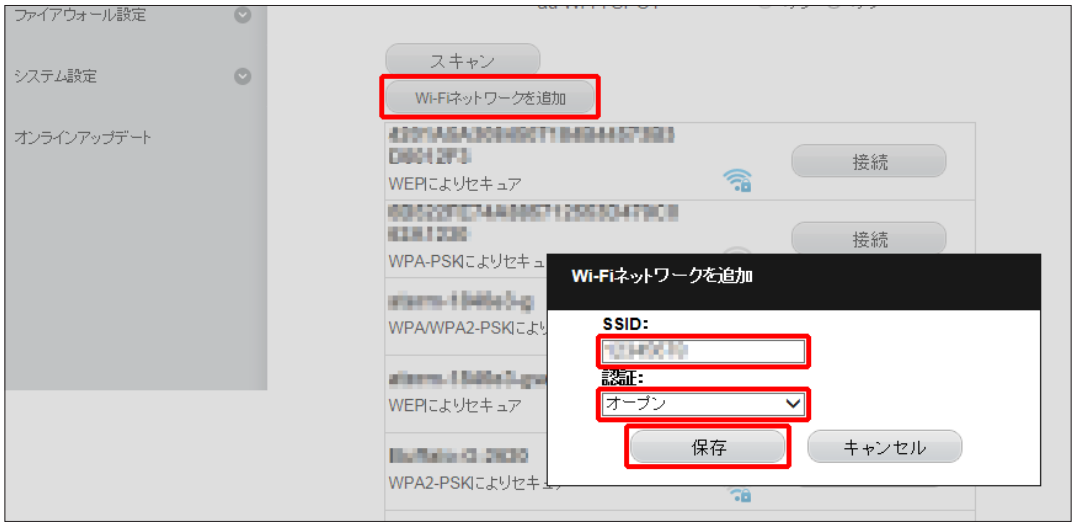
2. 接続するネットワーク名の右側に表示された「接続」を選択します。

3. パスワードを入力し、「接続」を選択します。
   選択したWi-Fiネットワークに接続されます。
   ・接続したネットワーク名の下に「接続」と表示されます。

手動でネットワーク名(SSID)を登録して接続する

SSIDステルス機能などによりWi-Fiネットワークがスキャンできない場合は、あらかじめSSIDや認証方式、パスワードなど接続に必要な情報がわかっていれば、手動で設定して接続できます。

1. 「Wi-Fiネットワークを追加」を選択します。



2. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	ネットワーク名を設定します	半角英数字と半角記号(- _ .)及び半角スペースで最大32文字	なし
認証	認証方式を選択します	オープン、WEP、WPA/WPA2-PSK	オープン
パスワード※	認証で「WEP」を選択した場合は、WEPキーを設定します	64bitキー： 半角英数字と半角記号で5文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)または10桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F) 128bitキー： 半角英数字と半角記号で13文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)または26桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F)	なし
	認証で「WPA/WPA2-PSK」を選択した場合は、使用する事前共有キーを指定します	半角英数字と半角記号で8文字以上63文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)、または64桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F)	なし

※認証で「オープン」を選択した場合は表示されません。

3. 「保存」を選択します。
追加したWi-Fiネットワークに接続されます。

Wi-Fiネットワークを切り替える

スキャンや手動で追加したWi-Fiネットワークのリストから、ネットワーク名(SSID)を選択して接続を切り替えることができます。

1. Wi-Fiネットワークのリストから接続したいネットワーク名(SSID)を選択します。
・ネットワーク名の右側の空白部分にマウスカーソルを合わせると「接続」が表示されます。

2. 接続したいネットワーク名の右側に表示された「接続」を選択します。
選択したWi-Fiネットワークに接続されます。
・接続したネットワーク名の下に「接続」と表示されます。

参考
・「パスワード入力」の画面が表示された場合は、パスワードを入力し、「接続」を選択します。本製品で以前に接続したことのある「ネットワーク名」を選択した場合は、「パスワード入力」の画面は表示されません。

セキュリティに関する機能の設定

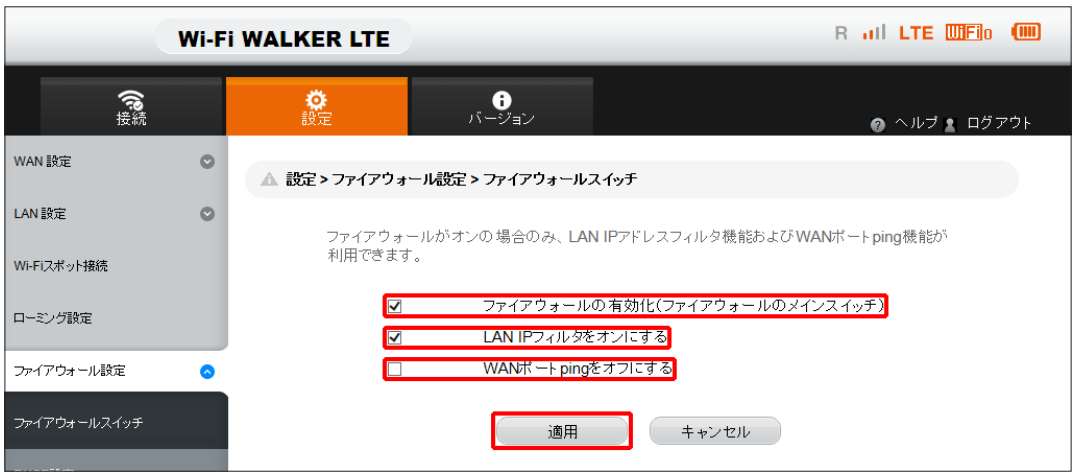
ファイアウォール機能に関する詳細設定を行います。

1. サブメニューから「ファイアウォール設定」を選択します。

2. 設定する項目を選択します。

ファイアウォールスイッチ

ファイアウォール機能の有効または無効などを設定します。ファイアウォールを有効にするとインターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。



1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファイアウォールの有効化(ファイアウォールのメインスイッチ)	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します	—	チェックあり
LAN IPフィルタをオンにする	LAN IPフィルタ機能を使用するかどうかを設定します	—	チェックあり
WANポートpingをオフにする	WAN側からのpingに応答するかどうかを設定します	—	チェックなし

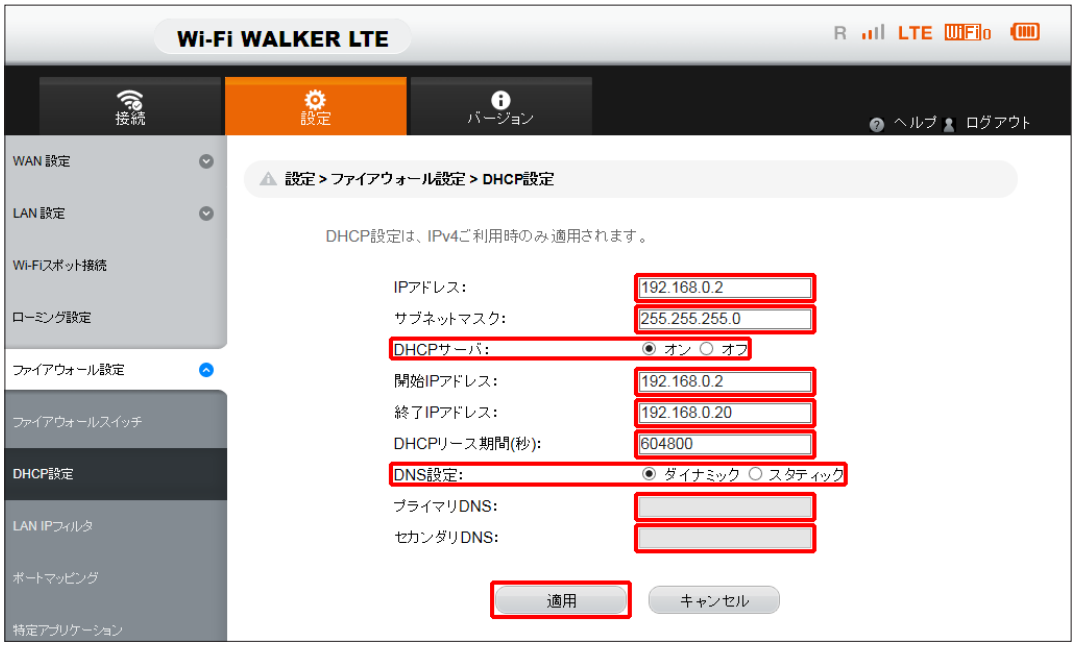
2. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

参考

・ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。また、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりすることがありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避できます。

DHCP設定

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。



1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本製品のプライベートIPアドレスを設定します	0～255の4組の番号※	192.168.1.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します	0～255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバ	DHCP機能を利用するかどうかを設定します	オン、オフ	オン
開始IPアドレス	無線LAN端末に割り当てる最小のIPアドレスを設定します	0～255の4組の番号※	192.168.1.100
終了IPアドレス	無線LAN端末に割り当てる最大のIPアドレスを設定します	0～255の4組の番号※	192.168.1.200
DHCPリース期間(秒)	IPアドレスのリース期間を設定します	60～604800	604800
DNS設定	DNSサーバアドレスをDHCP機能で指定するかどうかを設定します	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリ DNS	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します	0～255の4組の番号※	(なし)
セカンダリ DNS	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します	0～255の4組の番号※	(なし)

※「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2. 設定完了後、「適用」を選択します。

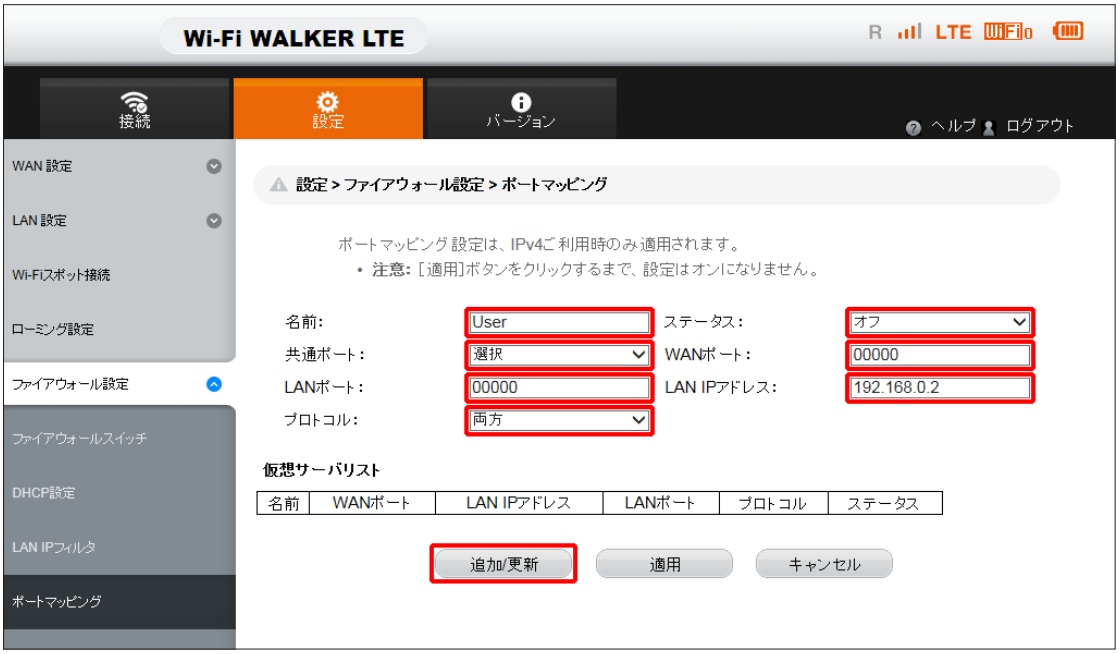
3. 「OK」を選択します。
   設定内容が適用され、本製品は自動的に再起動します。Wi-Fi WALKER LTE設定ツールはトップページに戻ります。
   •ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
   •設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

参考
- 「IPアドレス」と「開始IPアドレス」、「終了IPアドレス」には、同じサブネットワーク内のIPアドレスを指定してください。
- 「終了IPアドレス」には、「開始IPアドレス」より大きいIPアドレスを指定してください。
- これらの設定を変更すると、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなる場合があります。その場合は、正しいIPアドレスを指定してWi-Fi WALKER LTE設定ツールを起動し直してください。
- 「IPアドレス」または「サブネットマスク」を変更すると、「LAN IPフィルタ」(58ページ)、「ポートマッピング」(61ページ)、「DMZ設定」(65ページ)の設定変更が必要になる場合があります。

LAN IPフィルタ

ファイアウォールの基本的な機能です。
設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスからファイアウォールを通過させるかを判断します。16件まで登録できます。

参考
- この機能を利用するには、「ファイアウォールスイッチ」で「LAN IPフィルタをオンにする」にチェックをつけておく必要があります。(56ページ)
- サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されています。それらを適切に設定することで、特定の機能に関する通信のみを遮断できます。



ルールを登録する場合

1. 以下の項目を設定します。
   選択したIPタイプに応じて設定項目の一部が変わります。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPタイプ	フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します	IPv4	IPv4
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します	TCP、UDP、両方	両方
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します	オン、オフ	オフ
IPタイプでIPv4を選択した場合			
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信元)のIPアドレスを設定します	0 ～ 255の4組の番号とワイルドカードとして「*」※1※2	なし
WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)のIPアドレスを設定します	0 ～ 255の4組の番号とワイルドカードとして「*」※1※2	なし
IPタイプでIPv6を選択した場合			
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信元)のIPアドレスを設定します	4桁の16進数(0000 ～ FFFF)で記す8組の番号※3	なし
LANプレフィックス長	LAN IPアドレスのネットワークアドレス(プレフィックス)の長さ(ビット数)を設定します	1 ～ 128	なし
WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)のIPアドレスを設定します	4桁の16進数(0000 ～ FFFF)で記す8組の番号※3	なし
WANプレフィックス長	WAN IPアドレスのネットワークアドレス(プレフィックス)の長さ(ビット数)を設定します	1 ～ 128	なし
LANポート	ルールを適用するLAN側(送信元)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します	1 ～ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結	なし
WANポート	ルールを適用するWAN側(送信先)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します	1 ～ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結	なし
種別	パケットに対する動作です	拒否	拒否※4
方向	方向ルールを適用するパケットの送信方向です	OUT	OUT※4

※1 「*」を任意の文字として下記のように使用できます。
1. *.*.*.*
2. 10.*.*.*
3. 10.10.*.*
4. 10.10.10.*

LAN側IPアドレスの場合は、同じサブネット内のIPアドレス範囲内でワイルドカードが適用されます。
＜例＞
本製品をお買い上げ時の状態でお使いの場合は、LAN側IPアドレスは「192.168.1.*」となります。
DHCP設定のIPアドレスを「192.168.1.1」、サブネットマスクを「255.255.0.0」に設定した場合は、LAN側IPアドレスは「192.168.*.*」となります。

※2 「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

※3 4桁の16進数は先頭の0を省略できます(例：「0001」→「1」)。また、1箇所に限って連続する0を省略できます(例：「:0:0:0:」→「::」)。

※4 変更できません。

2. 「追加/更新」を選択します。
   設定したルールが「LAN IPフィルタリスト」に追加されます。
   •続けて別のルールを登録する場合は、手順1から2までを繰り返します。

3. 設定完了後、「適用」を選択します。

4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
   設定が完了し、登録されます。

登録したルールを変更する場合

1. 「LAN IPフィルタリスト」から、設定を変更するルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択します。
   選択したルールがグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加/更新」を選択します。
   変更したルールが「LAN IPフィルタリスト」に表示されます。
   •必要に応じて手順1から2までを繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定完了後、「適用」を選択します。

4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
   設定が完了し、登録されます。

登録したルールを削除する場合

1. 「LAN IPフィルタリスト」から、削除するルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択します。
   選択したルールがグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2. 「OK」を選択します。
   グレー表示されたルールが「LAN IPフィルタリスト」から削除されます。
   •必要に応じて手順1から2までを繰り返し、複数のルールを削除できます。

3. 設定完了後、「適用」を選択します。

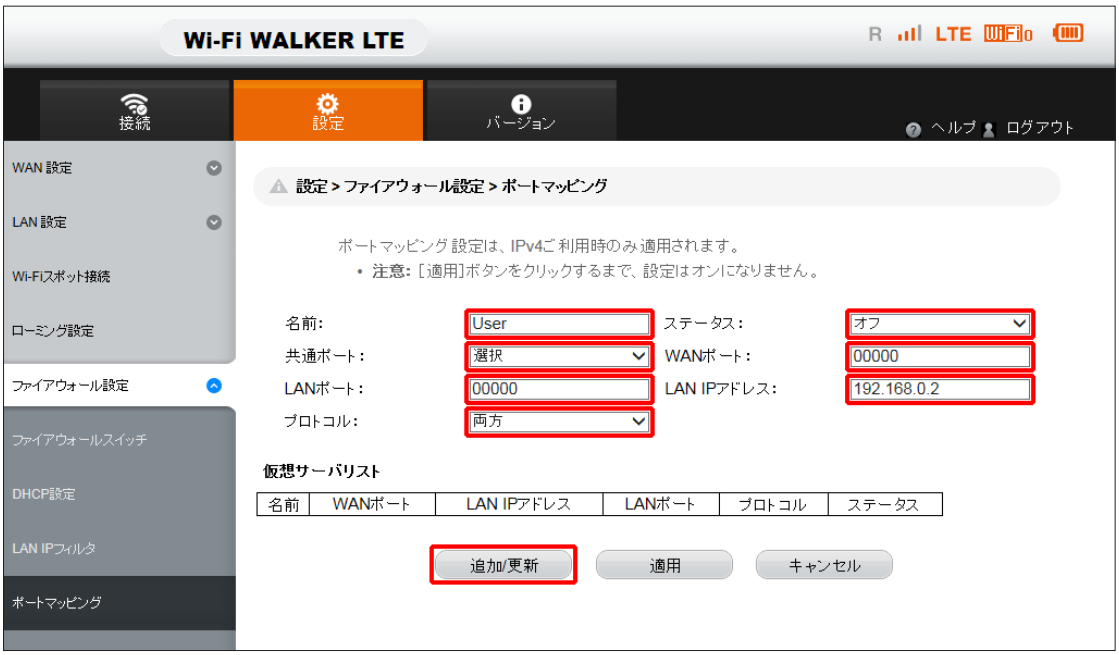
4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
   設定が完了し、登録されます。

ポートマッピング

インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるようにします。サーバやFTPを公開する場合や、一部のアプリケーションやソフトウェアなどを使用する場合に設定します。16件まで登録できます。

参考

- この機能ではLAN側端末を IPアドレスで指定するため、公開するサーバには、「DHCP設定」（57ページ）で割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。
- セキュリティ対策等でポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開などを使用する場合の設定では、通常ポート番号を変換する必要はありません。



ルールを登録する場合

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます	半角英数字と半角記号で8文字以上63文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)、または64桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F)	なし
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します	オン、オフ	オフ
共通ポート※1	サーバの種類を選択し、一般的な設定を入力できます	リスト項目	選択
WANポート	ルールを適用するWAN側(送信元)ポート番号を設定します	1 ～ 65535	なし
LANポート	•サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します •ポート番号を変換する必要がない場合は、「WANポート」番号と同じ値を設定します	1 ～ 65535	なし
LAN IPアドレス	サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します	0 ～ 255の4組の番号※2	なし
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します	TCP、UDP、両方	両方

※1　一般的なサーバ機能を設定する場合には、サーバの種類を選択すると、適切なポート番号などが自動的に入力され、設定が簡単になります。リストに表示されないサーバ機能を設定する場合には、「選択」を選択し、各項目を手動で設定してください。
※2　「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2. 「追加/更新」を選択します。
設定したルールが、「仮想サーバリスト」に追加されます。
•続けて別のルールを登録する場合は、手順1から2までを繰り返します。

3. 設定完了後、「適用」を選択します。

4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
設定が完了し、登録されます。

登録したルールを変更する場合

1. 「仮想サーバリスト」から、設定を変更するルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択します。
選択したルールがグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加/更新」を選択します。
変更したルールが、「仮想サーバリスト」に表示されます。
•必要に応じて手順1から2までをを繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定完了後、「適用」を選択します。

4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
設定が完了し、登録されます。

登録したルールを削除する場合

1. 「仮想サーバリスト」から、削除するルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択します。
   選択したルールがグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2. 「OK」を選択します。
   グレー表示されたルールが「仮想サーバリスト」から削除されます。
   •必要に応じて手順1から2までを繰り返し、複数のルールを削除できます。

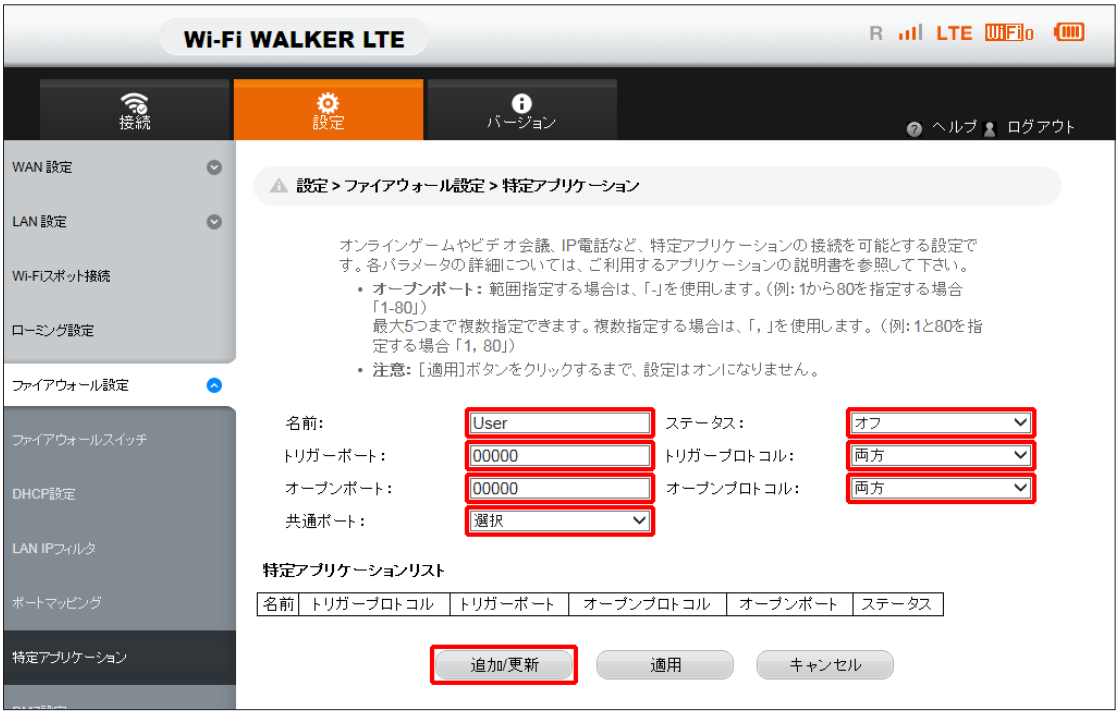
3. 設定完了後、「適用」を選択します。

4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
   設定が完了し、登録されます。

特定アプリケーション

テレビ電話システムなどの特定のアプリケーションが利用できるようにします。16件まで登録できます。

参考 ・アプリケーションが使用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。



ルールを登録する場合

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます	半角英数字と半角記号で最大30文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	なし
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します	オン、オフ	オフ
トリガーポート	制御データ用のポート番号を設定します	1 ～ 65535	なし
トリガープロトコル	制御データに使用するプロトコルを設定します	両方、TCP、UDP	両方
オープンポート	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を5つまで設定できます	1 ～ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結※ 複数指定する場合は「,」で連結	なし
オープンプロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します	両方、TCP、UDP	両方
共通ポート	サービスを選択し、サービスにあった設定を入力することができます	(リスト項目)	選択

※範囲指定する場合は、開始ポート番号と終了ポート番号の差は100以下にしてください。

2. 「追加/更新」を選択します。
設定したルールが、「特定アプリケーションリスト」に追加されます。
•続けて別のルールを登録する場合は、手順1から2までを繰り返します。

3. 設定完了後、「適用」を選択します。

4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
設定が完了し、登録されます。

登録したルールを変更する場合

1. 「特定アプリケーションリスト」から、設定を変更するルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択します。
選択したルールがグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加/更新」を選択します。
変更したルールが、「特定アプリケーションリスト」に表示されます。
•必要に応じて手順1から2までを繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定完了後、「適用」を選択します。

4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
設定が完了し、登録されます。

登録したルールを削除する場合

1. 「特定アプリケーションリスト」から、削除するルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択します。
選択したルールがグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2. 「OK」を選択します。
グレー表示されたルールが、「特定アプリケーションリスト」から削除されます。
•必要に応じて手順1から2までを繰り返し、複数のルールを削除できます。

3. 設定完了後、「適用」を選択します。

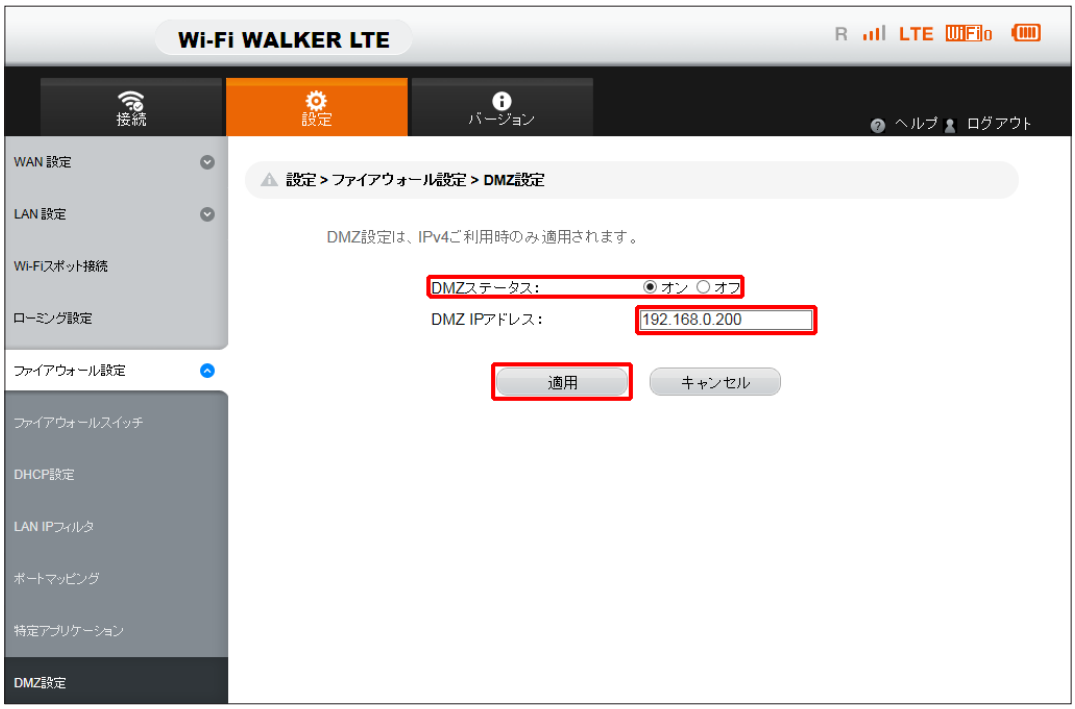
4. 「OK」を選択し、「続行」を選択します。
設定が完了し、登録されます。

DMZ設定

LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。Webサーバの公開などをするときに、ポート番号などの設定をしなくても利用できるようになります。

参考

・DMZホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保することをお勧めします。
・この機能では、LAN側端末をIPアドレスで指定します。そのため、DMZホストになる端末にはIPアドレスを手動で設定する必要があります。設定するIPアドレスは、57ページの「DHCP設定」で割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスである必要があります。



1. 設定完了後、「適用」を選択します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DMZ ステータス	DMZホストを設定するかどうかを選択します	オン、オフ	オフ
DMZ IPアドレス	「DMZステータス」が「オン」のとき、DMZホストのIPアドレスを設定します	0～255の 4組の番号※	192.168.1.200

※「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

UPnP設定

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセンジャーソフトなどのUPnP対応アプリケーションを使用するときに設定します。

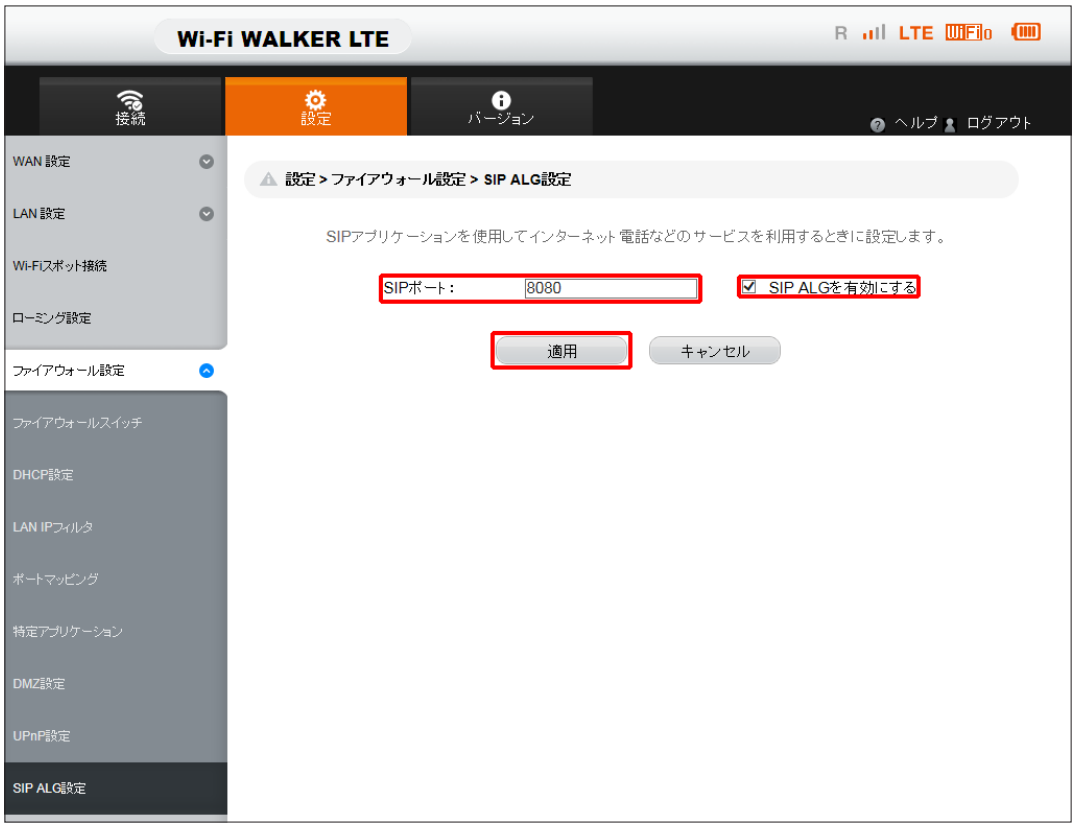
1. UPnP機能のON/OFFを選択します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
UPnPステータス	UPnP機能を使用するかどうかを選択します	オン、オフ	オフ

2. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

SIP ALG設定

SIPアプリケーションを使用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。



1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SIPポート	SIPサービスプロバイダから指定されたポート番号を設定します	1～65535	8080
SIP ALGを有効にする	SIP ALG機能を使用するかどうかを設定します	—	チェックなし

2. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

システム設定

Wi-Fi WALKER LTE設定ツールのログインパスワードを変更したり、各設定をお買い上げ時の状態に戻したりするなど、Wi-Fi WALKER LTE設定ツール全体の設定や操作を行います。

1. サブメニューから「システム設定」を選択します。

2. 設定する項目を選択します。

パスワード変更

Wi-Fi WALKER LTE設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。

1. 「現在のパスワード」、「新しいパスワード」を入力し、更に確認のために「新しいパスワード(確認用)」を再入力します。
   パスワードは、5文字以上15文字までの半角英数字と半角記号(, " : ; & \ < >は除く)で設定します。

2. 「変更」を選択し、「続行」を選択します。
   トップページに戻ります。
   •設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

バックアップ&リストア

Wi-Fi WALKER LTE設定ツールの設定内容をログインしているパソコンへの保存、及び保存した設定内容の読み込みができます。

バックアップ操作

1. 「バックアップ」を選択します。

2. 「保存」を選択します。
   •お使いのパソコンの環境によっては、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。

参考
・ブラウザの設定によっては、保存先とファイル名を指定できない場合があります。
・PINコード管理、ローミング設定の設定内容はバックアップされません。

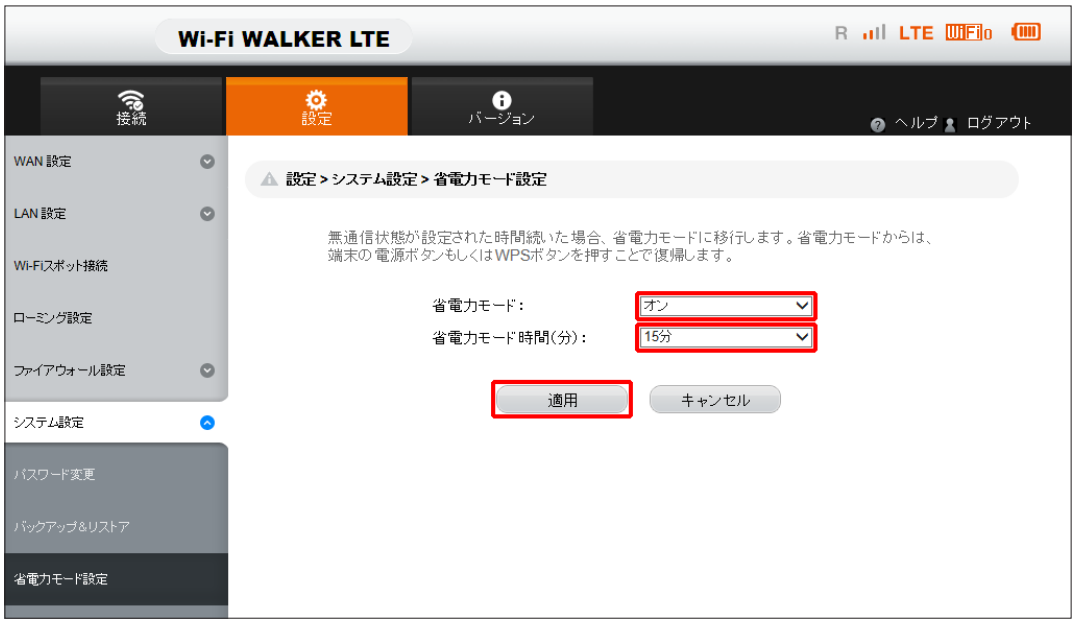
リストア操作

1. 「設定情報のリストア」の「参照」を選択して読み込むファイルを指定し、「リストア」を選択します。

2. 「OK」を選択します。
   本製品が再起動されます。

省電力モード設定

電池の消費を抑え、より長時間使用するために、通信機能をオフにする時間を設定します。



1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
省電力モード	省電力モードのON/OFFを設定します	オン、オフ	オン
省電力モード時間(分)	通信機能をOFFにする時間を設定します	5分、10分、15分	15分

2. 設定完了後、「適用」を選択します。

3. 「OK」を選択します。
   Wi-Fi接続が再起動されます。

4. 「続行」を選択します。

参考

・切断された通信機能を再度接続するには、本製品の電源ボタンまたはWPSボタンを押します。

ディスプレイ設定

電池の消費を抑え、より長時間使用するために、ディスプレイの消灯時間を設定します。

1. 以下の項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
バックライト 点灯時間(秒)	ディスプレイのバックライトを消灯するまでの時間を設定します	10秒、20秒、30秒	10秒

2. 設定完了後、「適用」を選択し、「続行」を選択します。

オールリセット

設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 「オールリセット」を選択します。

2. 「OK」を選択します。
   本製品が自動的に再起動し、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールはトップページに戻ります。
   •ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
   •設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

参考

・オールリセットを実行すると、設定値がすべて消去されます。IIJモバイルサービス/タイプKの接続設定については、『IIJモバイルサービス　セットアップガイド[HWD11]』をご覧ください。

再起動

本製品を再起動できます。

1. 「再起動」を選択します。

2. 「再起動」を選択します。
   再起動の確認が行われます。

3. 「OK」を選択します。
   本製品が再起動し、Wi-Fi WALKER LTE設定ツールはトップページに戻ります。
   •ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
   •設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

オンラインアップデート

最新のソフトウェアをダウンロードし、手動でアップデートできます。

参考
- オンラインアップデートを実行する場合は、インターネットに接続されていることを確認してください。
- アップデートファイルの確認時は約100秒でタイムアウトします。電波状況のよい場所で実行してください。

1. サブメニューから「オンラインアップデート」を選択します。

2. 「アップデート」を選択します。
   アップデートファイルがない場合は、「お使いのソフトは最新バージョンです。」と表示されます。
   アップデートファイルがある場合は、次の画面に進みます。

3. 「アップデート」を選択します。
   ダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

バージョン

バージョン情報を確認できます。

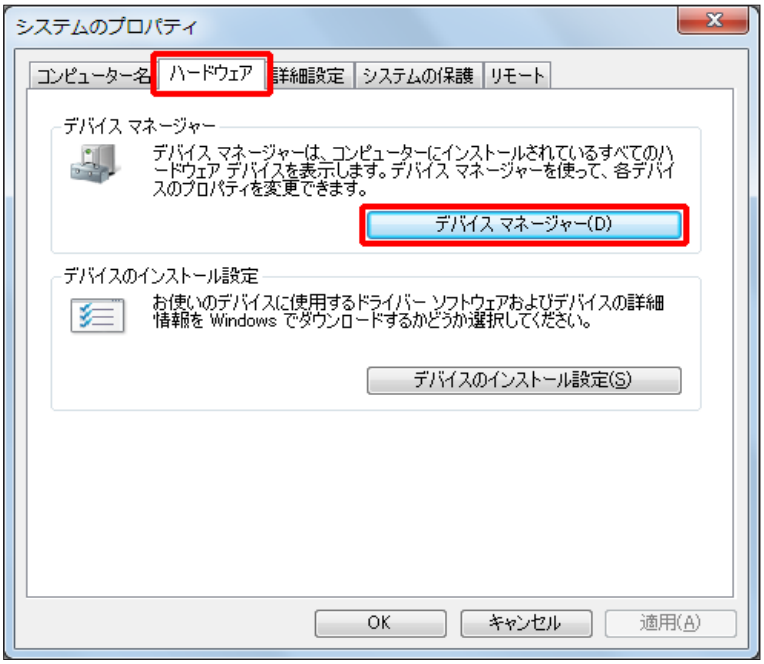
1. ナビメニューから「バージョン」を選択します。

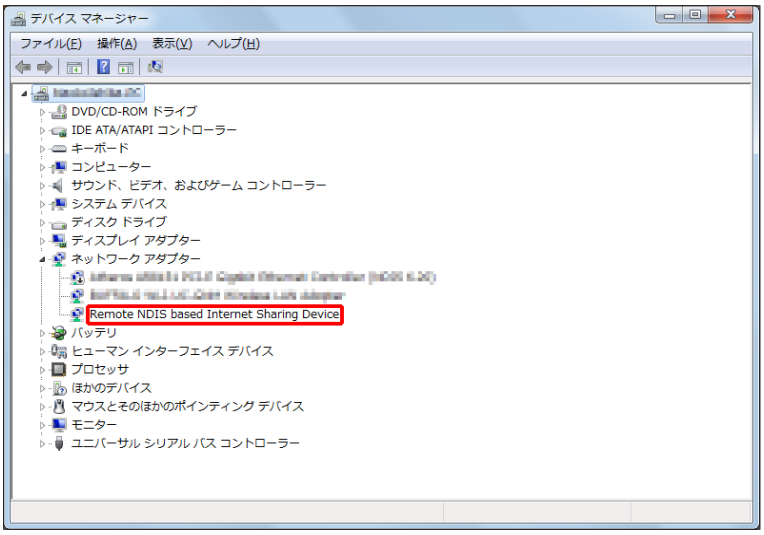
付録

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が勝手に切れる	内蔵電池が高温になっている可能性があります。電源を切り、温度を下げてください	—
無線LAN端末を接続できない	本製品の電源が入っていることを確認してください	P.25
	無線LAN端末の無線LAN機能がONになっていることを確認してください	P.27、P.28、P.30
	Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを起動し、「LAN設定」の「基本設定」で「Wi-Fiモジュール」が「オン」になっていることを確認してください	P.49
	SSID1にWPAまたはWPA2で設定している場合は、正しい事前共有キーを設定しているか、確認してください。事前共有キーを忘れた場合は、「セキュリティ設定」を参照して事前共有キーを設定し直し、もう一度接続の操作を行ってください また、無線LAN端末によっては、WPA/WPA2の暗号化方式に対応していない場合があります。お使いの無線LAN端末の取扱説明書をご確認ください	P.50
	SSID2に設定している場合は、正しいWEPキーを入力しているか、確認してください。WEPキーを忘れた場合は、本製品をリセットするか、「セキュリティ設定」を参照してWEPキーを設定し直し、もう一度接続の操作を行ってください	P.51
	WPS機能で接続できない場合は、無線LAN端末の取扱説明書などを参照してください。それでも接続できない場合は、無線LAN機能を手動で設定する必要があります	P.30
	WPS用のPINコードが指定された無線LAN端末を接続する場合は、正しいPINコードを設定しているか、確認してください	P.52
インターネットへの接続に失敗した	サービスエリア内であることをご確認ください	—
	電波状態が良くない場合は、電波状態が良い場所へ移動して、もう一度接続してください	—
	時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください	—
	Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを起動し、ネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください	P.38
通信がすぐに切れる	電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください	—
	本製品の電池残量を確認してください。電池残量が少なくなっている場合は、microUSBケーブルでパソコンに接続するか、ACアダプタを接続して充電してください	P.23
	本製品とパソコンなどが、無線LANまたはmicroUSBケーブルにより正しく接続されていることを確認してください	—
	本製品と無線LAN端末を無線LANで接続している場合は、本製品の電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れてください	—
	本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続している場合は、本製品をパソコンから取り外してもう一度接続してください	—
	上記の操作を行っても接続できない場合は、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください	—
通信速度が遅く感じる	電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください	—
	回線の状態が良くない場合があります。時間を置いて再度試してください	—
	LTEのサービスエリア内であることを確認してください。LTEのサービスエリア外の場合は、通信速度が変化します	—

こんなときは	ご確認ください	参照
microUSBケーブルで接続したパソコンが本製品を認識しない	本製品がmicroUSBケーブルで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください	—
	本製品をパソコンから一度取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください	—
	●Windows 7及びVistaの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください ①「コンピューター」(Windows Vistaの場合は「コンピュータ」)を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「システムの詳細設定」を選択して表示される、「ユーザーアカウント制御」の画面で、「はい」(Windows Vistaの場合は「続行」)を選択します ②「システムのプロパティ」の画面で、「ハードウェア」のタブを選択します ③「デバイスマネージャー」を選択します  	—

こんなときは	ご確認ください	参照
microUSBケーブルで接続したパソコンが本製品を認識しない	④「デバイスマネージャー」の画面に、「Remote NDIS based Internet Sharing Device」が表示されていることを確認します  	—
	●Windows 8の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください ①デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅または右下隅に移動)し、「設定」から「PC情報」を選択します ②システム画面が表示されたら、画面左側から「デバイスマネージャー」を選択し、次のデバイスが表示されることを確認してください ネットワーク アダプター Remote NDIS based Internet Sharing Device ユニバーサル シリアル バス コントローラー Huawei Mobile Connect – Bus Enumerate Device	—
	●Macの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください ①「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダを選択して開き、「ターミナル」を選択して起動します ② ターミナルウィンドウで、次のように入力します ioreg -p IOUSB -w -S | grep HUAWEI ③ 次の情報が表示されることを確認します HUAWEI xxxx@xxxx	—
本製品の設定を購入時の状態に戻したい	●本体のボタン操作でリセットする場合 本製品の電源が入った状態で、Resetボタンを先の細いもので約5秒以上押します 本製品をリセットすると、すべての設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります	P.5
	●Wi-Fi WALKER LTE設定ツールから本製品をリセットする場合 ①Wi-Fi WALKER LTE設定ツールを起動します ②「設定」を選択し、「システム設定」を選択します ③「オールリセット」を選択します。設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります	P.72

こんなときは	ご確認ください	参照
管理者権限(Administrator)でログインしているのか判らない	●Windows 7及びWindows Vistaの場合 ①「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」画面を表示します ②「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」を選択して、次の画面で「ユーザーアカウント」を選択します ③ 画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているため、本製品をセットアップすることができます	—
	●Windows 8の場合 ① デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスで操作する場合は、画面の右上隅または右下隅に移動)し、「設定」から「コントロールパネル」を選択します ②「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」から「アカウントの種類の変更」を選択します ③ 画面に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているので、本製品をセットアップすることができます	—
	●Macの場合 ① アップルメニューから「システム環境設定…」を選択します ②「システム環境設定…」の画面で、「システム」の「ユーザとグループ」を選択します ③ 画面の左側に現在ログインしているユーザ名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしているため、本製品をセットアップすることができます	—

Wi-Fi WALKER LTE設定ツールメニュー項目及び設定項目一覧

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値
接続	—	—
設定	—	—
WAN設定		
基本設定		
接続モード	自動、LTE、Wi-Fi	自動
接続設定		
プロファイルリスト	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大5件	iijmobile.jp
MTU(Bytes)	1400 ～ 1500	1420
プロファイル設定		
プロファイルリスト	お買い上げ時に登録されているプロファイルを除き最大4件	iijmobile.jp
プロファイル名	半角英数字と半角記号で最大32文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	iijmobile.jp
APN(接続先情報)	半角英数字と半角記号で最大32文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	k.iijmobile.jp
ユーザー名	半角英数字と半角記号(. - _ / @)で最大45文字	mobile@iij
パスワード	半角英数字と半角記号(! # $ % & ( ) * + - . / : ; < > = ? @ [ ] _ { })で最大16文字	iij※1
認証タイプ	CHAP、PAP	CHAP
IPタイプ	IPv4、IPv6、IPv4 & IPv6	IPv4
PINコード管理		
PINコード操作	有効にする、無効にする、変更する	なし
現在のPINコード	4桁から8桁の数字	なし
新しいPINコード	4桁から8桁の数字	なし
確認用PINコード	4桁から8桁の数字	なし
ロック解除コード	8桁の数字	なし
LAN設定		
基本設定		
Wi-Fiモジュール	オン、オフ	オン
Wi-Fiチャンネル	Auto、1、2、…、13	Auto
IEEE802.11モード	802.11b、802.11g、 802.11b/g、8 02.11b/g/n	802.11b/g/n
Wi-Fiデータレート(Mbps)	Auto、1、2、5.5、6、7.2、9、11、 12、14.4、18、21.7、24、28.9、 36、43.3、48、54、57.8、65、 72.2	Auto

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値
セキュリティ設定		
ディスプレイにパスワードを表示する	—	チェックあり
SSID1（WPA2/WPA）	半角英数字と半角記号(- _ .)及び半角スペースで最大32文字	
IEEE802.11認証	WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
WPA暗号化	AES、AES＋TKIP	AES+TKIP
WPA事前共有キー	半角英数字と半角記号で8文字以上63文字(, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)、または64桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F)	※2
キー更新周期(分)	無し、30、60、90、120	120
SSIDステルス	オン、オフ	オフ
プライバシーセパレータ	オン、オフ	オフ
SSID2（WEP）	半角英数字と半角記号(- _ .)及び半角スペースで最大32文字	
SSID2モジュール	オン、オフ	オフ
暗号化方式	WEP64、WEP128	WEP64
WEPキー 1 ～ 4	64bitキー： 半角英数字と半角記号で5文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く) または10桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F) 128bitキー： 半角英数字と半角記号で13文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く) または26桁の16進数(0 ～ 9、A ～ F)	
現在のネットワークキー	1、2、3、4	1
SSIDステルス	オン、オフ	オフ
WPS設定		
WPS PINコード	半角数字で8桁	なし
MACアドレスフィルタ		
Wi-Fi MACフィルタ	オフ、許可、拒否	オフ
MACアドレス	00 ～ FFの6組の番号	なし
Wi-Fiスポット接続		
au Wi-Fi SPOT	オン、オフ	オフ
ファイアウォール設定		
ファイアウォールスイッチ		
ファイアウォールの有効化（ファイアウォールのメインスイッチ）	—	チェックあり
LAN IPフィルタをオンにする	—	チェックあり
WANポートpingをオフにする	—	チェックなし
DHCP設定		
IPアドレス	0 ～ 255の4組の番号	192.168.1.1
サブネットマスク	0 ～ 255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバ	オン、オフ	オン
開始IPアドレス	0 ～ 255の4組の番号	192.168.1.100
終了IPアドレス	0 ～ 255の4組の番号	192.168.1.200
DHCPリース期間(秒)	60 ～ 604800	604800
DNS設定	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリDNS	0 ～ 255の4組の番号	なし
セカンダリDNS	0 ～ 255の4組の番号	なし

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値
LAN IPフィルタ		
IPタイプ	IPv4、IPv6	IPv4
プロトコル	TCP、UDP、両方	両方
ステータス	オン、オフ	オフ
＜IPタイプでIPv4を選択した場合＞※2		
LAN IPアドレス	0～255の4組の番号とワイルドカードとして「*」	なし
WAN IPアドレス	0～255の4組の番号とワイルドカードとして「*」	なし
＜IPタイプでIPv6を選択した場合＞※2		
LAN IPアドレス	4桁の16進数(0000～FFFF)で記す8組の番号	なし
LANプレフィックス長	1～128	なし
WAN IPアドレス	4桁の16進数(0000～FFFF)で記す8組の番号	なし
WANプレフィックス長	1～128	なし
LANポート	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結	なし
WANポート	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結	なし
種別	拒否	拒否
方向	OUT	OUT
ポートマッピング		
名前	半角英数字と半角記号で最大30文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	なし
ステータス	オン、オフ	オフ
共通ポート	(リスト項目)	選択
WANポート	1～65535	なし
LANポート	1～65535	なし
LAN IPアドレス	0～255の4組の番号	なし
プロトコル	TCP、UDP、両方	両方
特定アプリケーション		
名前	半角英数字と半角記号で最大30文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	なし
ステータス	オン、オフ	オフ
トリガーポート	1～65535	なし
トリガープロトコル	両方、TCP、UDP	両方
オープンポート	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結 複数指定する場合は「,」で5つまで連結	なし
オープンプロトコル	両方、TCP、UDP	両方
共通ポート	(リスト項目)	選択
DMZ設定		
DMZステータス	オン、オフ	オフ
DMZ IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.1.200
UPnP設定		
UPnPステータス	オン、オフ	オフ
SIP ALG設定		
SIPポート	1～65535	8080
SIP ALGを有効にする	—	チェックなし

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値
システム設定		
パスワード変更		
現在のパスワード	半角英数字と半角記号で5文字以上15文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	
新しいパスワード	半角英数字と半角記号で5文字以上15文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	なし
新しいパスワード(確認用)	半角英数字と半角記号で5文字以上15文字 (, " : ; & ¥ % + > < ? 'は除く)	なし
バックアップ&リストア		
設定情報のバックアップ	—	—
設定情報のリストア	—	—
省電力モード設定		
省電力モード	オン、オフ	オン
省電力モード時間(分)	5分、10分、15分	15分
ディスプレイ設定		
バックライト点灯時間(秒)	10秒、20秒、30秒	10秒
オールリセット	—	—
再起動	—	—
オンラインアップデート	—	—
バージョン	—	—

※1　画面には「●●」で表示されます。
※2　「LAN IPフィルタ」は、選択したIPタイプに応じて設定項目の一部が変わります。

主な仕様

本体

外形寸法	約103（W）×66（H）×14.5（D）mm
質量	約136g
インターフェイス	USB 2.0 High Speed（microUSB端子）
ディスプレイ	1.45インチ　TFT
消費電力	通信時一般：約1.25W（LTE）、約0.64W（Wi-Fi） 待機時：約0.03W ※使用状況により消費電力は変化します。
電源	DC 5V、2A
内蔵電池	リチウムイオン、3.7V、3000mAh
連続待受時間	約550時間（無線LANオフ、LTE待受時）
連続通信時間※	約550分（LTE接続時）
環境条件	動作温度範囲：5℃～ 35℃ 湿度：35% ～ 85%
充電時間	約180分（付属のACアダプタ接続時）

※ Wi-Fi子機1台を接続した場合の時間です。

WAN

通信方式	国内：LTE Wi-Fi（IEEE802.11b/g/n準拠）
対応周波数	国内：LTE：800MHz、1500MHz Wi-Fi：2.4GHz（1 ～ 13ch）
通信速度	国内：受信75Mbps、送信25Mbps（LTE） 72Mbps（Wi-Fi：IEEE802.11n）
Wi-Fiセキュリティ方式	Open System WEP：64bit、128bit WPA-PSK：TKIP、AES WPA2-PSK：TKIP、AES WPA2-EAP：TKIP、AES

LAN

通信方式	Wi-Fi（IEEE802.11b/g/n準拠）
対応周波数	2.4GHz（1 ～ 13ch）
通信速度	72Mbps（IEEE802.11n）
Wi-Fiセキュリティ方式	WEP：64bit、128bit WPA-PSK：TKIP、AES WPA2-PSK：TKIP、AES
最大同時接続数	Wi-Fi：10台、USB：1台

知的財産権について

商標について

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
Bingは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
Mac、Macintosh、Safariは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Certified®、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
Chromeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
、HUAWEI は、中国HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。
その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、及び登録商標です。とくに本文中では、®マーク、TMマークは明記しておりません。

GPL書面によるオファー

本製品はGNU General Public License (Version2)が適用されたフリーソフトウェアを使用しています。詳細は、下記のホームページをご参照ください。
http://www.huaweidevice.com/mbb_copyright
または、mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

発売元：株式会社インターネットイニシアティブ
輸入元：華為技術日本株式会社
製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES. LTD